

令和元年 7月 30日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 国語

代表者 坪内小 学校

氏名 前田直子

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【国語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元の目標の示し方
方 法	○各単元における目標の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうやってみをまもるのかな」 単元名, 目標なし ○ のりもののことをしらべよう「いろいろなふね」 ○ くらべてよもう「子どもをまもるどうぶつたち」 <p>第2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ たんぼほのひみつを見つけよう「たんぼほ」 ○ 文しょうのちがいを考えよう「サツマイモのそだて方」 ○ どうぶつのひみつをさぐる「ビーバーの大工事」 ○ あなのやくわりを考えよう「あなのやくわり」 <p>第3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章を読んで感そうをつたえ合おう「自然のかくし絵」 ○ 書き手のくふうを考えよう『ほけんだより』を読みくらべよう ○ パラリンピックについて調べよう「パラリンピックが目指すもの」 ○ 世界の家のつくりについて考えよう「人をつつむ形 — 世界の家めぐり」 <p>第4学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 説明のまとまりを見つけよう「ヤドカリとイソギンチャク」 ○ 表し方のちがいを考えよう「広告を読みくらべよう」 ○ 暮らしの中の「和」と「洋」について調べよう「暮らしの中の和と洋」 ○ 日本語の教え方について考えよう「教え方を生みだそう」 <p>第5学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の伝えたいことをまとめよう「動物たちが教えてくれる海の中の暮らし」 ○ 書き手の意図を考えよう「新聞記事を読み比べよう」 ○ 和の文化について調べよう「和の文化を受けつぐ — 和菓子をさぐる」 ○ テクノロジーの進歩について考えよう『弱いロボット』だからできること <p>第6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の論の進め方を確かめよう「イースター島にはなぜ森林がないのか」 ○ インターネットの議論を考えよう「インターネットの投稿を読み比べよう」 ○ 町の未来をえがこう「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」 ○ さまざまな生き方について考えよう「プロフェッショナルたち」 <p>〈目標の示し方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 各単元の教材文の前の導入ページに目標を示している。(1年上以外) □ 「言葉の力」の目標を示し, 具体的な目標を示している。(1年上以外)
学図	<p>第1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ えやしやしんでたしかめながらよもう「いきもののあし」 ○ みつけてよもう「はまべでひろったよ」 ○ くらべてよもう「くらしをまもる車」 ○ つながりをかんがえてよもう「めだかのぼうけん」 <p>第2学年</p>

- じゅんじょを考えながらよもう「ほたるの一生」
- ずやひょうにしてくらべて読もう「たこのすみ いかのすみ」
- せつ明のじゅんじょを考えて読もう「食べるのは、どこ」
- 作り方をたしかめながら読もう「とべとべ回れ」
- 一日のながれを読もう「水ぞくかんのしいくいん」
- かんけいをたしかめながら読もう「どんぐり」
- しりょうへん「あいさつのみぶりとことば」 単元名なし

第3 学年

- 要点をおさえて読もう「ミラクルミルク」
- だん落どうしの関係を読もう「合図とするし」
- しりょうへん「ほしたらどうなる」 単元名なし
- 要約してつながりを読もう「ネコのひげ」
- 分類して整理しながら読もう「冬眠する動物たち」

第4 学年

- 説明のしかたを考えながら読もう「アメンボはにん者か」
- 表にしてくらべながら読もう「手で食べる、はしで食べる」
- 二つの文章をくらべて読もう「空飛ぶふろしき ムササビ」「ムササビがくらす森」
- 筆者の視点を追って読もう『『落ち葉』ではなく『落ちえだ』』
- 自分の考えを深めるために読もう「さわっておどろく」
- しりょうへん「だまし絵で分かる脳の仕組み」 単元名なし

第5 学年

- 要旨をとらえて読もう「東京スカイツリーのひみつ」
- 自分の意見をもって読もう「わたしたちとメディア」
「インターネット・コミュニケーション」
- しりょうへん「和紙の心」 単元名なし
- 論の進め方に着目して読もう『『一本』から見える数え方の世界』

第6 学年

- 視野を広げて読もう「AIで言葉と向き合う」
- 筆者の提案を読み、意見文を書こう『『本物の森』で未来を守る』
- 考えを共有するために読もう「国境なき大陸 南極」

〈目標の示し方〉

- ☆ 各単元の冒頭に目標を示している。
- 二つの項目にして明確に目標を示している。

教出

第1 学年

- 「すずめのくらし」 単元名、目標なし
- 「だれが、たべたのでしょうか」 単元名、目標なし
- かかれていることをたしかめよう「はたらくじどう車」
- ぶんしょうとえをあわせてよもう「みぶりでつたえる」

第2 学年

- じゅんじょに気をつけてよみ、つながりを見つけよう「すみれとあり」
- しゃしんをくらべて、考えよう「この間に何があった？」
- じゅんじょや様子に気をつけて読もう「さけが大きくなるまで」
- わかりやすくせつめいするための、くふうをたしかめよう『『しかけ絵本』を作ろう』

	<p>第3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ だんらくの要点をつかもう「うめぼしのはたらき」「めだか」 ○ 絵文字の特長をとらえよう「くらしと絵文字」 ○ 図や写真と文章を、むすびつけて読もう「川をさかのぼる知恵」 <p>第4学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ けっかとけつろんのつながりをとらえよう「ぞうの重さを量る」 「花を見つける手がかり」 ○ 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう「ウミガメの命をつなぐ」 ○ 自分の経験と結びつけて考えよう『『便利』ということ』 <p>第5学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事例と解説をもとに、言葉と事実との関係を考えよう 「人とねずみの『はい、チーズ!』」 「言葉と事実」 ○ 多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう 「世界遺産 白神山地からの提言」 ○ 「マンガの方法」とその効果について、自分の考えをもと「マンガの方法」 <p>第6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう「雪は新しいエネルギー」 ○ 「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう「あなたはどう感じる？」 「ぼくの世界、君の世界」 <p>〈目標の示し方〉</p> <p>☆ 各単元の教材文の前の導入ページに目標を示している。</p> <p>□ 巻頭の「〇年生で学ぶこと」のページに各単元の目標を示している。</p>
光村	<p>第1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「くちばし」単元名、目標なし ○ よんでたしかめよう「うみのかくれんぼ」 ○ せつめいする文しょうをよもう「じどう車くらべ」 ○ くらべてよもう「どうぶつの赤ちゃん」 <p>第2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ じゅんじょに気をつけて読もう「たんぼぼのちえ」 ○ 読んで考えたことを話そう「どうぶつ園のじゅうい」 ○ せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう 「馬のおもちゃの作り方」 ○ だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう「おにごっこ」 <p>第3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 段落とその中心をとらえて読み、かんそうをつたえ合おう 「〈れんしゅう〉言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」 ○ れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう「すがたをかえる大豆」 ○ 読んで感想をもち、つたえ合おう「ありの行列」 <p>第4学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう 「〈練習〉思いやりのデザイン」「アップとルーズで伝える」 ○ 中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう「世界にほこる和紙」

- きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう「ウナギのなぞを追って」
- 第5学年
- 文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう
「〈練習〉見立てる」「言葉の意味が分かること」
 - 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう「固有種が教えてくれること」
 - 事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう「想像力のスイッチを入れよう」
- 第6学年
- 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう
「〈練習〉笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」
 - 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう「『鳥獣戯画』を読む」
 - 筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう
「メディアと人間社会」「大切な人と深くつながるために」
〈目標の示し方〉
- ☆ 各単元の教材文の前の導入ページに目標を示し、既習単元とのつながりも示している。(1年以外)
- 具体的な目標を示している。

【国語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②言葉の特徴や使い方に関する事項
方 法	○語彙を豊かにするための語句の示し方

発行者	調査・研究内容			
東書	学年	資料名	内容	示し方
	1 下	○ 「言葉の広場」	○ 学校や生活に関わる言葉	○ 「学校」(42語), 「一日」(65語)の2項目に分けて示している。
	2 上		○ 学校や家, 町や村, くらしに関わる言葉	○ 「学校にあるもの」(30語), 「家にあるもの」(30語), 「町や村にあるもの」(49語), 「くらしの中でよくつかうことば」(62語)の4項目に分けて示している。
	2 下		○ 身近な人, 人の体, 人がすることや物の様子を表す言葉	○ 「みちかな人」(31語), 「人の体」(39語), 「人がすること」(59語), 「もののようす」(52語)の4項目に分けて示している。
	3 上		○ 人物や物事の様子を表す言葉, 動物や植物に関わる言葉	○ 「人物の様子」(36語), 「物事の様子」(40語), 「動物」(69語), 「植物」(62語)の4項目に分けて示している。
	3 下		○ 人物の行動や気持ち, 性格を表す言葉	○ 「人物の行動」(61語), 「人物の気持ち」(54語), 「人物のせいかく」(52語)の3項目に分けて示している。
	4 上		○ 物事や人物の様子を表す言葉, 言語に関わる言葉	○ 「物事の様子」(38語), 「人物の様子」(36語), 「言語」(104語)の3項目に分けて示している。
	4 下		○ 人物の性格や行動, 気持ちを表す言葉	○ 「人物のせいかく」(68語), 「人物の行動」(51語), 「人物の気持ち」(54語)の3項目に分けて示している。
	5		○ つなぐ言葉, 比べるときの表現, 思考に関わる言葉	○ 「つなぐ言葉」(35語), 「比べるときの表現」(7語), 「思考に関わる言葉」(90語)の3項目に分けて示している。
	6		○ 思考に関わる言葉, 原因と結果を表す表現, つなぐ言葉や関係を表す言葉	○ 「思考に関わる言葉」(36語), 「原因と結果」(9語), 「つなぐ言葉」(47語), 「関係を表す言葉」(32語)の4項目に分けて示している。

学年	資料名	内容	示し方
1 下	○ 「言葉の部屋」	○ 生活の中で使う言葉	○ 身に付けるもの (13 語), 行動を表す言葉 (10 語), 文房具 (10 語), 学習に関わる言葉 (11 語) の 4 項目に分けて示している。
2 上		○ 町にあるものや建物の言葉, 最後に「い」のつく言葉	○ 「町にあるものやたてものことば」(14 語), 「さい後に『い』のつくことば」(16 語) の 2 項目に分けて示している。
2 下		○ 体に関わる言葉	○ 「からだのことば」として, 体を表す言葉 (23 語), 行動を表す言葉 (25 語) の 2 項目に分けて示している。
3 上		○ 行動を表す言葉	○ 「行動を表す言葉」(48 語) を示している。話す (17 語), 聞く (6 語), 書く (5 語), 読む (4 語), 見る (5 語), 思う (3 語), 調べる (5 語), その他 (3 語) などの項目に分けて示している。
3 下		○ 様子を表す言葉	○ 「様子を表す言葉」(44 語) を示している。
4 上		○ 気持ちや性格を表す言葉	○ 「気持ちや性格を表す言葉」(48 語) を示している。気持ち (24 語), 性格 (24 語) などの項目に分けて示している。
5 上		○ つなぐ言葉	○ 「つなぐ言葉」(31 語) を示している。
6 上		○ 思考に関わる言葉	○ 「思考に関わる言葉」(17 語) を示している。

学図

学年	資料名	内容	示し方
1 下	○ 「言葉の木」	○ 広がる言葉	○ 建物（6語）、文房具（5語）、自然（6語）、食べ物（6語）、動物（6語）、野菜（3語）、自動車（4語）の7項目に分けて示している。
2 上		○ 反対の意味の言葉	○ 「はんたいのいみの言葉」（18語）、「にたいみの言葉」（18語）の2項目に分けて示している。
2 下		○ 広い言葉と狭い言葉（言葉の広がり）	○ 「広い言葉とせまい言葉」として、「どうぶつ」（5語）、「食器」（3語）、「色」（5語）、「おもちゃ」（3語）、「本」（3語）の5項目に分けて示している。
3 上		○ 行動を表す言葉	○ 「行動の木」として、「くらす」（7語）、「かかわる」（7語）、「動く」（8語）、「つたえ合う」（8語）の4項目に分けて示している。
3 下		○ 心を表す言葉	○ 「心の木」として、「思う」（7語）、「表す」（7語）、「感じる」（8語）の3項目に分けて示している。
4 上		○ 感じたことを表す言葉	○ 「感じの木」として、「見た感じ」（6語）、「さわった感じ」（6語）、「あじ」（5語）、「はだで感じる（体感）」（4語）、「きこえる様子」（5語）、「におい」（5語）の6項目に分けて示している。
4 下		○ 気持ちを表す言葉	○ 「気持ちの木」として、「いかり・おそれ」（6語）、「よろこび」（6語）、「好き・きらい」（5語）、「悲しみ」（5語）の4項目に分けて示している。
5 上		○ 組み合わせの言葉	○ 「組み合わせの木」として複合語（22語）を示している。
5 下		○ 同じ言葉	○ 「同じ言葉の木」として同音異義語のいろいろな使い方（19語）を示している。
6 上		○ 慣用句	○ 「慣用句の木」として、「たてる」（4語）、「のる」（4語）、「すえる」（3語）、「つける」（4語）、「のむ」（4語）の5項目に分けて示している。
6 下		○ 考えるために必要な言葉	○ 「考えるの木」として、考えるために必要な言葉（31語）を示している。

教出

光村	学年	資料名	内容	示し方
	2 上	○ 「言葉の宝箱」	○ 考えや気持ちを伝える言葉	○ 人物を表す言葉 (10語), 物の様子を表す言葉(10語), 考え方を表す言葉 (5語), 気持ちを表す言葉 (21語) の4項目に分けて示している。
	2 下		○ 考えや気持ちを伝える言葉	○ 人物を表す言葉 (10語), 物の様子を表す言葉(10語), 考え方を表す言葉 (7語), 気持ちを表す言葉 (21語) の4項目に分けて示している。
	3 上		○ 考えや気持ちを伝える言葉	○ 人物を表す言葉 (9語), 物や事柄の様子を表す言葉 (8語), 考え方を表す言葉 (6語), 気持ちを表す言葉 (26語) の4項目に分けて示している。
	3 下		○ 考えや気持ちを伝える言葉	○ 人物を表す言葉 (10語), 物や事柄の様子を表す言葉 (10語), 考え方を表す言葉 (6語), 気持ちを表す言葉 (25語) の4項目に分けて示している。
	4 上		○ 考えや気持ちを伝える言葉	○ 人物を表す言葉 (10語), 物や事柄の様子を表す言葉 (16語), 考え方を表す言葉 (7語), 気持ちを表す言葉 (24語) の4項目に分けて示している。
	4 下		○ 考えや気持ちを伝える言葉	○ 人物を表す言葉 (10語), 物や事柄の様子を表す言葉 (16語), 考え方を表す言葉 (6語), 気持ちを表す言葉 (25語) の4項目に分けて示している。
	5		○ 考えや気持ちを伝える言葉	○ 人物を表す言葉 (19語), 事物を表す言葉 (19語), 考え方を表す言葉 (6語), 心情を表す言葉 (44語) の4項目に分けて示している。
	6		○ 考えや気持ちを伝える言葉	○ 人物を表す言葉 (18語), 事物を表す言葉 (20語), 考え方を表す言葉 (7語), 心情を表す言葉 (40語) の4項目に分けて示している。

【国語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③情報の扱い方に関する事項
方 法	○辞典の種類と具体例, 調べる活動

発行者	調査・研究内容
東書	<p>単元名「国語じてんの使い方」(3年)</p> <p>【辞典の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「あける [明ける]」の掲載ページの具体例に次の六つの注釈 <ul style="list-style-type: none"> ・ 見出し語 ・ 漢字を使った書き表し方 ・ 言葉の意味 ・ 言葉の使い方 ・ このページにのっている見出し語の見方 ・ このページにのっている見出し語の一字目の見方 <p>【調べる活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「すいせんのラップ」に出てきた一線の言葉の意味を国語じてんでしらべましよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一面, かきね, ダンサー ○ 一線の言葉はどんな漢字を使って書くか, 国語じてんでしらべましよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちにあう, 足にあう ○ 一線の言葉はどんな意味で使われているか, 国語じてんでしらべましよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい, 山 <p>単元名「漢字辞典の使い方」(4年)</p> <p>【辞典の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「連」の掲載ページの具体例に次の五つの注釈 <ul style="list-style-type: none"> ・ 部首・画数 ・ 読み方 (音はかたかな, 訓はひらがな) ・ 筆順 ・ 成り立ち・意味 ・ その漢字が使われた言葉 (「連歌」など五つの語) <p>【調べる活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次の一線部の漢字の読み方を, 三種類のさく引を使って調べましよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目が覚める, 漢字を覚える, 感覚がなくなる ・ かぜを治す, 国を治める, 明治時代, 全治一か月 ○ 次の漢字を使った言葉にはどのようなものがあるか, 漢字辞典を使って調べましよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発, 重, 登, 神 ○ どのような漢字を調べるときに, どのさく引が便利だったか, 話し合いましよう。

学図	<p>単元名「国語じてんの使い方」(3年)</p> <p>【辞典の具体例】</p> <p>○ 「びやくや [白夜], ひやくようばこ [百葉箱], ひやす [冷やす]」の掲載ページの具体例に次の六つの注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見出し語 ・ かん字での書きあらわし方 ・ 言葉の意味 ・ 言葉の使い方 ・ はしら ・ つめ <p>【調べる活動】</p> <p>○ どちらの見出し語が先ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たいよう, タイヤ <p>○ 言い切りの形にしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食べれば, 行きます, 速くない <p>○ 次の一線の言葉を国語じてんで調べ, いくつかあるいみのうち, どのいみがいちばん合っているか考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つく, 切る, 声, 明るい <p>○ 次の一線の言葉の, アはにたいみの言葉, イは反対のいみの言葉を考えましょう。そして, じてんでたしかめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい (ア), 暑い (イ), 新しい (イ)
	<p>単元名「漢字辞典の使い方」(4年)</p> <p>【辞典の具体例】</p> <p>○ 「約」の掲載ページの具体例に次の五つの注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そのページにのっている漢字 ・ 部首をのぞいた画数・総画数 ・ その漢字がどうしてできたかのせつめい ・ 漢字の意味 ・ その漢字が上についた熟語(「約数」など二つの語) <p>【調べる活動】</p> <p>○ 漢字辞典の三つの引き方を使って, 次の一線部分の漢字について, 読み方や部首, 画数を調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部首さくいんで (国旗・旗ざお, 松竹梅・松原) ・ 音訓さくいんで (反省・文部科学省・雀く) ・ 総画さくいんで (力士・力仕事, 競争・競馬)
教出	<p>単元名「国語辞典の引き方」(3年)</p> <p>【辞典の具体例】</p> <p>○ 「さいけつ (採決), ざいこ (在庫), さいこう (最高)」の掲載ページの具体例に</p>

	<p>次の六つの注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見出し語 ・ 漢字をつかった書き表し方 ・ 言葉の意味 ・ 言葉のつかい方 ・ このページにのっている見出し語の見方 ・ このページにのっている見出し語の一字目の見方 <p>【調べる活動】</p> <p>○ 次の言葉は、どの順番にならんでいるか、たしかめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひかげ, ヒーロー, ピアノ, ひっこし <p>単元名「漢字辞典の引き方」(4年)</p> <p>【辞典の具体例】</p> <p>○ 「治」の掲載ページの具体例に次の五つの注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部首・部首以外の部分の画数 ・ 総画数 ・ 漢字の読み方 ・ 漢字の成り立ちや意味 ・ 「治」を使った言葉のれい(「治まる」など三つの語) <p>【調べる活動】</p> <p>○ 次の＝線の漢字を自分の調べやすい方法で調べ、友達とどの調べ方が調べやすかったか、話し合ってみましょう。いくつかの調べ方が思いついた場合は、どうしてその方法をえらんだのか、考えましょう。(訓, 以外, 子孫, 前兆, 家臣, 達筆, 城下町, 刷る, 奈落, 読本, 帰省, 塩田, 良心, 直径, 達人)</p>
光村	<p>単元名「国語辞典を使おう」(3年)</p> <p>【辞典の具体例】</p> <p>○ 「ふかい(深い)」の掲載ページの具体例に次の六つの注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見出し語 ・ 漢字での書きあらわし方 ・ 言葉の意味 ・ 言葉の使い方 ・ はしら ・ つめ <p>【調べる活動】</p> <p>○ 国語辞典を使って、つぎの言葉はどちらが先に出ているか、調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ じゅう(自由)とじゅう(十), くらすとクラス, バレーとバレエ <p>○ 一線の言葉を国語辞典で調べ、いくつかある意味のうち、どれが当てはまるか考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出す, とく, とる, あげる <p>○ 次の文章のまちがいを見つけましょう。また□には()の中のどの言葉が入る</p>

でしょう。国語辞典を使って考えましょう。

- ・合いに → 会いに
- ・さか道は (なだらか, なめらか, のびやか)

単元名「漢和辞典の使い方」(4年)

【辞典の具体例】

○ 「飛」の掲載ページの具体例に①～④の記号を付し下段に次の四つの注釈

- ① 読み方
- ② 成り立ち
- ③ 意味
- ④ その漢字を使った語句(「飛球」など三つの語)

【調べる活動】

- 次の漢字の画数を数え、漢字辞典を引いてたしかめましょう。(写, 曲, 発, 起, 陽, 遊)
- 漢字辞典を使って、一線の漢字の読み方, 意味, 使い方を調べましょう。(校庭で, 東西南北をたしかめる。古いお社を見る。愛読書は, 「マザー=テレサ」という本だ。昨夜, 旅行の計画を立てた。物事の本を正す。青年が, 城の近くを歩いている。)

【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④興味・関心を高めるための工夫
方 法	○実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名, 題材・テーマ

発行者	調査・研究内容	
東書	第1学年 【単元名】 ○ 小学校のことをしょうかいしよう 【題材 (テーマ)】 ○ 小学校ですること	
	第2学年 【単元名】 ○ たからものをしょうかいしよう 【題材 (テーマ)】 ○ 大切にしているたからもの	【単元名】 ○すきな場しよを教えよう 【題材 (テーマ)】 ○すきな場しよ
	第3学年 【単元名】 ○ グループの合い言葉をきめよう 【題材 (テーマ)】 ○ 今月のグループの合い言葉	
	第4学年 【単元名】 ○ 学校についてしょうかいすることを考えよう 【題材 (テーマ)】 ○ 学校のしょうかい	
	第5学年 【単元名】 ○ 問題を解決するために話し合おう 【題材 (テーマ)】 ○ 身の回りにある問題	
	第6学年 【単元名】 ○ 話し合って考えを深めよう 【題材 (テーマ)】 ○ 身の回りの言葉に関する話題	
学図	第1学年 【単元名】 ○ みんなではなしあおう	

	<p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ クイズ大会をしよう</p> <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 話し合ってまとめよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ やってごらん おもしろいよ (「あそび大会」をしよう)</p> <p>第3学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ やくわりを決めて話し合おう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ クラスレクリエーションをしよう (学級会をひらこう)</p> <p>第4学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 問題解決のために話し合おう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ 安全マップを作って話し合おう</p> <p>第5学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ テーマを決めて討論しよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ より良い考え方はどっち? (学校の昼食はお弁当にしたほうがよい)</p> <p>第6学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 立場を決めて討論しよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ パネルディスカッションをしよう (地球環境を守るために、私たちに何ができるか)</p>
<p>教出</p>	<p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ きいたことを正しくつたえよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ 学校のことをつたえあおう (学校ではたらいっている人たち)</p> <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ しつもんしたり答えたりして、話し合おう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ 「クラスお楽しみ会」をひらこう</p>

	<p>第3学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ すじみちを立てて発表しよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ たからものをしょうかいしよう</p> <p>○ すじみちを立てて発表しよう</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 調べて発表しよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ 町の行事について発表しよう</p> <p>第4学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 目的や進め方をたしかめて話し合おう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ 新スポーツを考えよう</p> <p>第5学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 伝わるように構成を考えよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ 「町じまん」をすいせんしよう</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 考えを広げるために、立場を決めて話し合おう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ AIとのくらし</p> <p>第6学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 立場を決めて、主張を明確にしよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ 地域の防災について話し合おう</p>
光村	<p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ きいてしらせよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ ともだちのこと、しらせよう</p> <p>【单元名】</p> <p>○ ふたりでかんがえよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ これは、なんでしょう (学校にあるもの)</p> <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ みんなで話をつなげよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p> <p>○ そうだんにのってください (学校やふだんの生活でのこと)</p> <p>【单元名】</p> <p>○ つたえたいことをきめて、はっぴようしよう</p> <p>【題材 (テーマ)】</p>

- 楽しかったよ, 二年生

第3学年

【单元名】

- 進行を考えながら話し合おう

【題材 (テーマ)】

- はんで意見をまとめよう
(読み聞かせの本を選ぶ)

【单元名】

- つたえたいことを, 理由をあげて話そう

【題材 (テーマ)】

- わたしたちの学校じまん

第4学年

【单元名】

- 役わりをいしきしながら話し合おう

【題材 (テーマ)】

- クラスみんなで決めるには

第5学年

【单元名】

- たがいの立場を明確にして, 話し合おう

【題材 (テーマ)】

- よりよい学校生活のために

第6学年

【单元名】

- 目的や条件に応じて, 計画的に話し合おう

【題材 (テーマ)】

- みんなで楽しく過ごすために

【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤課題解決的な学習を実施するための工夫
方 法	○課題と学習の進め方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ こえに出してよもう</p> <p>【課題】</p> <p>○ 人ぶつの気持ちをかんがえながらよみましょう。</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>○ チロの気持ちをかんがえて、おはなしをこえに出してよもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人ぶつがしたことをたしかめよう。 ・チロの気持ちをかんがえよう。 ・こえに出してよもう。 ・ふりかえる(チロのどんな気持ちをつたえるために、どんなこえでよみましたか。)
	<p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 読んだかんそうをつたえ合おう</p> <p>【課題】</p> <p>○ 人ぶつの気持ちをそうぞうしながら読みましょう。(自分とくらべて読む)</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>○ お話を読んだかんそうを、友だちとつたえ合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人ぶつがしたことと、ようすを思いうかべながら読もう。 ・かんそうをつたえ合おう。 ・ふりかえる(友だちのかんそうとどんなところが同じで、どんなところがちがいましたか。)
	<p>第3学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 想像したことをつたえ合おう</p> <p>【課題】</p> <p>○ 物語の中心人物である豆太は、どのようなせいかくの人物なのだろうか。</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>○ 豆太がどのようなせいかくの人物なのかを想ぞうして、想ぞうしたことを友だちとつたえ合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆太のせいかくを想ぞうしよう ・豆太について想ぞうしたことを友だちとつたえ合おう ・ふり返る(豆太について友だちとつたえ合い、どんなことを感じましたか。)
	<p>第4学年</p> <p>【单元名】</p>

	<p>○ 読んで考えたことを伝え合おう</p> <p>【課題】</p> <p>○ 最後の場面で、目をつぶったままうなずいたごんは、どのような気持ちだったんだろう。それを見ていた兵十は、どのような気持ちだったんだろう。</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>○ 最後の場面のごんと兵十の気持ちを考え、考えたことを友達と伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごんと兵十の気持ちを考えよう。 ・物語を読んだ感想を、友達と伝え合おう。 ・ふり返る（友達と感想や考えを伝え合い、どのようなことを感じたり考えたりしましたか。） <p>第5学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 朗読で表現しよう</p> <p>【課題】</p> <p>○ 残雪に対する大造じいさんの心情は、どのように変化したのだろう。</p> <p>○ 大造じいさんは、どのような人物だといえるだろう。</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>○ 大造じいさんの人物像を想像し、強く印象に残った場面を朗読で表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの人物像を想像しよう。 ・朗読で表現しよう。（自分と友達のそれぞれのよさや、感じ方や考え方のちがいを見つけ、伝え合いましょう。） ・ふり返る（思ったことや考えたことを、朗読でどのように表現しましたか。） <p>第6学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 物語を読んで、考えたことを伝え合おう</p> <p>【課題】</p> <p>○ 自分の追い求めてきた瀬の主に対して、太一はなぜ、もりを打たなかったのだろう。</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>○ 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめ、伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物の変化について考えよう。 ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめて、友達と伝え合おう。 ・ふり返る（友達と考えを伝え合い、どのようなことを感じたり考えたりしましたか。）
学図	<p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ ようすをおもいうかべてよもう</p> <p>【課題】</p> <p>○ とうじょう人ぶつのしたことをおもいうかべましょう。</p> <p>○ かいてあることをたしかめながら、こえに出してよみましょう。</p> <p>【学習の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらすじをたしかめよう

- ・したことからかんがえよう
- ・こえに出してよもう

第2学年

【单元名】

- かんそうをもって読もう

【課題】

- 心のうごきやそのわけをそうぞうし、かんそうをもちましょう。
- 絵の同じところやちがうところから、心のうごきをたしかめましょう。

【学習の進め方】

- ・人ぶつの言ったことをたしかめよう
- ・二人の様子をそうぞうしよう
- ・かわったわけを読みとろう
- ・かんそうをつたえ合おう

第3学年

【单元名】

- 人物の変化を読もう

【課題】

- 場面のうつりかわりから、人物のせいかくや気持ちの変化を想像しましょう。
- 人物のかわったところとかわっていないところをたしかめましょう。

【学習の進め方】

- ・全体を見通そう
- ・豆太のせいかくと気持ちを考えよう
- ・人物の変化をたしかめよう
- ・考えを発表しよう
- ・絵をくらべながら読もう（視点をかえる）

第4学年

【单元名】

- 人物の関係と気持ちの変化を読もう

【課題】

- 人物の気持ちとその変化を、人物と人物の関係からつかみましょう。
- 最後の一文による効果をたしかめましょう。

【学習の進め方】

- ・文章全体を見通そう
- ・ごんの気持ちを想像しよう
- ・視点の変化から考えよう
- ・物語の終わり方について話し合おう

第5学年

【单元名】

- 描写を手がかりに読もう

【課題】

	<p>○ 描写に着目して、登場人物の心情とその変化をとらえましょう。</p> <p>○ 人物の変化と、そのきっかけとなる出来事との関係を確認しましょう。</p> <p>【学習の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物の心情とその変化をとらえよう ・描写をとらえよう ・書かれていない部分を想像しよう ・感想を伝え合おう <p>第6学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 自分と重ねて読もう</p> <p>【課題】</p> <p>○ 登場人物が感じたことをもとに、自分自身と重ね合わせましょう。</p> <p>○ 表現による伝わり方の効果をとらえましょう。</p> <p>【学習の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名から全体をとらえよう ・部分をとらえよう ・感想を伝え合おう
<p>教出</p>	<p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ ようすをおもいうかべながらよもう</p> <p>【課題】</p> <p>○ がまくんとかえるくんのようすをおもいうかべながらよみましょう。</p> <p>○ おはなしに出てくる人についてあげたいことを、手がみにかきましよう。</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>○ ようすをおもいうかべながらよもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がまくんとかえるくんがしたことを、じゅんじょにきをつけてはなしましょう。 ・はじめのばめんとおわりのばめんのえをくらべて、ちがいをしょうかいしあい、そのわけをかんがえてかきましよう。 ・おはなしのすきなところとそのわけを、ともだちにしょうかいしましよう。 ・二人についてあげたいことを手がみに書いて、ともだちとよみあいましよう。 <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 場面の様子や登場人物の行動に気をつけて読もう</p> <p>【課題】</p> <p>○ お話のはじめとおわりをくらべて、アレクサンダがどのように考えをかえたのか、また、どうして考えをかえたのかを読み取りましよう。</p> <p>○ 心にのこったことやあらすじをまとめて、このお話をしょうかいしましよう。</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>○ 場面の様子や登場人物の行動に気をつけて読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物とおもなできごとを、たしかめましよう。 ・物語のはじめとおわりで、何がかわったかを話し合いましよう。 ・アレクサンダは、いつ自分の考えをかえたのか、なぜ考えをかえたのか、話し合

いましょう。

- ・アレクサンダが考えをかえたことについて、自分の考えを書き、はっぴょうし合
いましょう。
- ・心にのこったところやあらすじをまとめて、このお話を、しょうかいしまし
よう。

第3学年

【单元名】

- 登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう

【課題】

- 豆太の気持ちを考えながら読もう。
- この物語のおもしろいところをしょうかいしよう。

【学習の進め方】

- 登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう。
 - ・主な登場人物をたしかめましょう。
 - ・豆太の気持ちの変化や、場面ごとの豆太について自分が思ったことや考えたこと
をまとめ、話し合しましょう。
 - ・物語のはじめと終わりの豆太の変化について、自分の考えとその理由を話し合
いましょう。
 - ・この物語のおもしろいところをしょうかいし合しましょう。
 - ・「おすすめ図書カード」を作ろう

第4学年

【单元名】

- 場面のうつり変わりと結びつけ、登場人物の変化を読もう

【課題】

- 場面のうつり変わりと、登場人物の気持ちの変化を読もう。
- 「ごんぎつね」をおすすめするポスターを作ろう。

【学習の進め方】

- 登場人物の変化に気を付けて読もう。
 - ・ごんの気持ちのうつり変わりを話し合しましょう。
 - ・はじめと終わりの場面を比べ、兵十のごんに対する気持ちの変化を考えましょ
う。
 - ・ごんと兵十の心のつながりについて、自分の考えを書いてしょうかいしまし
よう。
 - ・「ごんぎつね」をおすすめする「せんでんポスター」を作らましょ

第5学年

【单元名】

- 物語の全体像をとらえ、やま場の場面を見つけて読もう

【課題】

- 作品の全体像をとらえ、その中から「やま場」の場面を見つけて読もう。
- 残雪を放した大造じいさんの行動に対して、考えを書こう。

【学習の進め方】

- 物語の全体像をとらえ、やま場の場面を見つけて読もう

	<ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんが、がんをとらえるために立てた作戦と、その時の心情を整理しましょう。 ・大造じいさんの残雪に対する気持ちの変化と理由を発表し合いましょう。 ・情景びょうしゃを見つけ、その効果を話し合いましょう。 ・「やま場」だと思ふ場面と、その理由について話し合いましょう。 ・残雪を放した大造じいさんについてどう思うか、大造じいさんの心情にふれながら、自分の考えを書き、友達と読み合いましょう。 <p>第6学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう</p> <p>【課題】</p> <p>○ 場面の移り変わりの中で、「ぼく」の心情がどのように移り変わっていったかを読み取りましょう。</p> <p>○ 指で作った「窓」から見てみたいものについて、理由と合わせて、想像したことを書きましょう。</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>○ 登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ぎつねに対する「ぼく」の心情はどのように変化していったのか、まとめましょう。 ・子ぎつねの「窓」に映ったものと、「ぼく」の「窓」に映ったものを比べて、気づいたことを話し合いましょう。 ・不思議な世界に行ったことによって、「ぼく」にはどのような変化があったのかを話し合いましょう。 ・自分が「窓」から見たいものを、理由も合わせて考えてノートに書き、友達と読み合いましょう。
光村	<p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ おもいうかべながらよもう</p> <p>【課題】</p> <p>○ かぎ（「」）のところは、どのようによみますか。</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>○ おもいうかべながらよもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くじらぐも」をこえにだしてよみましょう。「いいな。」「すきだな。」とおもったところはどこですか。 ・かぎ（「」）のところは、どのようによみますか。子どもとくじらぐものようすをおもいうかべましょう。 ・一ねん二くみのみんなは、くものうえで、どんなことをはなしたでしょう。 <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 自分とくらべて、かんそうを書こう</p> <p>【課題】</p> <p>○ 「すみれちゃん」はどんなおねえさんなのでしょう。</p>

【学習の進め方】

- 自分とくらべて、かんそうを書こう
 - ・じんぶつがしたことをあらわすことばに、気をつけましょう。
 - ・じんぶつがしたことや言ったことを、自分とくらべながら読みましょう。
 - ・心にのこったところについて、かんそうを書きましょう。

第3学年

【单元名】

- 登場人物について、話し合おう

【課題】

- 「モチモチの木」とは、どんな木なのでしょう。
- 「豆太」は、どんな人物でしょうか。

【学習の進め方】

- 登場人物について話し合おう
 - ・せいかくを表す言葉や、気持ちを表す言葉に気をつけましょう。
 - ・「豆太」について考えたことを友だちとつたえ合い、考えを深めましょう。

第4学年

【单元名】

- 気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう

【課題】

- 「ごん」は、どんなきつねでしょうか。
- 「ごん」には、どんなことが起こるのでしょうか。

【学習の進め方】

- 気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう
 - ・気持ちを表す言葉や、情景のえがかれ方に気をつけましょう。
 - ・物語について話し合い、考えを深めましょう。
 - ・くわしく読んで分かったことや感じたことをもとに、物語や人物についての考えをまとめましょう。
 - ・さらに考えを深めたいことについて、グループでテーマを決めて、話し合ひましょう。

第5学年

【单元名】

- すぐれた表現に着目して読み、物語のみりよくをまとめよう

【課題】

- 「大造じいさん」はどんな人物でしょうか。
- 「大造じいさん」と「ガン」は、どのような関係にあるのでしょうか。
- 心情や場面の様子を表す表現を味わいながら読みましょう。

【学習の進め方】

- すぐれた表現に着目して読み、物語のみりよくをまとめよう
 - ・人物の心情や場面の様子を表す表現を味わい、朗読で表現しよう。
 - ・効果的に用いられている表現について自分の考えをまとめ、伝え合おう。
 - ・友達に、物語にどんなみりよくを感じているだろうか。自分の考えと比べながら

読み, 感じたことを伝え合おう。

第6学年

【単元名】

- 登場人物の関係をとらえ, 人物の生き方について話し合おう

【課題】

- それぞれの人物の生き方が, 「太一」にどんなえいきょうをあたえたかを考えながら読みましょう。

【学習の進め方】

- 登場人物の関係をとらえ, 人物の生き方について話し合おう
 - ・人物どうしの関わりや, 人物の生き方が表れている表現に着目しよう。
 - ・人物の生き方について, 自分の考えをまとめ, 友達と話し合おう。
 - ・友達の意見にふれて, よく分かったことや, 自分の考えが変わったことを伝え合おう。

【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方 法	○学習過程の構成，評価活動

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ はっけんしたよ</p> <p>【学習過程】</p> <p>① 「はっけんメモ」をかく。</p> <p>② ようすをつたえる文しょうをかく。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ ふりかえりにおける自己評価のみ。</p> <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ あそび方をせつ明しよう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① せつ明することを考える。</p> <p>② 文しょうを書く。</p> <p>③ 読みかえしてたしかめる。</p> <p>④ 文しょうを読み合う。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ 友だちと文しょうを読み合い，手作りおもちゃのあそび方を伝え合う。</p> <p>第3学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 調べて書こう，わたしのレポート</p> <p>【学習過程】</p> <p>① 調べることをきめる。</p> <p>② 方法をきめて，調べる。</p> <p>③ 組み立てを考える。</p> <p>④ レポートを書く。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ 友だちと読み合い，気づいたことを伝え合う。</p> <p>第4学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ みんなで新聞を作ろう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① 新聞作りの計画を立てる。</p> <p>② 取材して，記事を書く。</p> <p>③ わり付けをする。</p>

	<p>④ 新聞を完成させる。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ 友達のグループの新聞を読んで感想を伝え合う。</p> <p>第5学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 反対の立場を考えて意見文を書こう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① 考えを整理する。</p> <p>② 反対意見を予想して対応を考える。</p> <p>③ 構成を考える。</p> <p>④ 意見文を書く。</p> <p>⑤ 感想を伝え合う。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ 意見と理由ははっきりしているか、反対意見を予想して書いているか、構成は分かりやすいか、といった点に気をつけて読み、よかったところを伝え合う。</p> <p>第6学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 世界に目を向けて意見文を書こう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① 資料を読み取り、考えを深める。</p> <p>② 文章の構成を考える。</p> <p>③ 意見文を書く。</p> <p>④ 感想を伝え合う。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ 意見文を友達と読み合い、自分の意見と同じ点やちがう点、説得力があると思ったところなど、感想を伝え合う。</p>
学図	<p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ かんさつしたことをかこう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① みつけたものをかきだそう</p> <p>② カードにまとめよう</p> <p>③ カードをもとにかこう</p> <p>④ よみかえそう</p> <p>⑤ よみあおう</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ かいたぶんしょうをともだちとよみあい、よいところをつたえあう。</p> <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ しらべて書こう</p> <p>【学習過程】</p>

- ① おもちゃの作り方を思い出そう
- ② おもちゃの作り方を書こう
- ③ 読み合おう

【評価活動】

- 書いた文しょうを友だちと読み合い、かんそうをつたえ合う。
作り方をさん考にして、おもちゃを作ってあそぶ。

第3学年

【单元名】

- ぎ間を調べて書こう

【学習過程】

- ① 「はてな」を調べよう
- ② 組み立てを考えよう
- ③ メモをもとに書こう

【評価活動】

- 書き終えた文章を読み直して、文章を整える。

第4学年

【单元名】

- ほうこくしたいことを新聞にまとめて書こう

【学習過程】

- ① 取材の計画を立てよう
- ② 資料を整理しよう
- ③ 新聞にまとめよう
- ④ 新聞を読み合おう

*事前に「レッスン」として、新聞について学習する。

【評価活動】

- 新聞を読み合い、良いところを伝え合う。

第5学年

【单元名】

- 意見文を書こう

【学習過程】

- ① 意図をとらえよう
- ② 構成を考えよう
- ③ 意見文を書こう
- ④ 読み直そう
- ⑤ 読み合おう

*事前に「レッスン」として、文章の構成について学習する。

【評価活動】

- 良いと思ったところを伝え合う。

第6学年

【单元名】

	<p>○ 提案する文章を書いて伝えよう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① 考えを広げよう</p> <p>② テーマを決め、資料を集めよう</p> <p>③ 構成を考えよう</p> <p>④ 構成表をもとに、提案原稿を書こう</p> <p>⑤ 原稿を推こうしよう</p> <p>⑥ 提案し合おう</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ 資料の使い方、論の展開などから、提案内容に説得力があると思ったことを伝え合う。</p>
<p>教出</p>	<p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ かきたいことをよくおもいだしてかきましよう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① つたえたいいきものをきめる。</p> <p>② よくおもいだして、メモにかく。</p> <p>③ つたえたいことをえらび、かく。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ ふりかえりにおける自己評価のみ。</p> <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ おもちゃのせつめい書を書こう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① おもちゃの作り方やあそび方を思い出し、メモに書く。</p> <p>② せつめい書の組み立てを考える。</p> <p>③④せつめい書を書き、読みかえす。</p> <p>⑤ 友だちと読み合う。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ 友だちと読み合う。</p> <p>第3学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ つたえたいことをはっきりさせて書こう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① 知りたいことをまとめて、「取材メモ」を作り、調べる。</p> <p>② 「取材メモ」の中から、書かないようにえらぶ。</p> <p>③ ほうこく文を書く。</p> <p>④ ほうこく文を読み返す。</p> <p>⑤ 友達と読み合う。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ 友達やグループごとにこうかんして読み、感想を伝え合う。</p>

	<p>第4学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 新聞を作ろう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① 知らせたいことを決め、調べる。</p> <p>② 記事のわりつけを考える。</p> <p>③④記事を下書きし、読み返してせいしよする。</p> <p>⑤ 新聞を読み合う。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ ろうかなどにはって、読み合う。</p> <p>第5学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 事実と意見を結びつけて書こう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① 取材して、提案することがらを定める。</p> <p>② 提案文の構成を考える。</p> <p>③④読む人に提案したいことが伝わるように書き、すいこうする。</p> <p>⑤ 提案文を読んだ感想を伝え合う。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ 友だちと読み合ったり、他の学年の人や先生などに読んでもらったりする。</p> <p>第6学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 説得力のある文章を書こう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① 課題を決めて、取材する。</p> <p>② 自分の主張を効果的に伝える構成を考える。</p> <p>③ 意見文を書く。</p> <p>④ 意見文を読み返す。</p> <p>⑤ 友達と読み合って、交流する。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ 友達と読み合って、交流する。</p>
光村	<p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ くわしくかこう</p> <p>【学習過程】</p> <p>① しらせたいもののえと、見つけたことをかきましょう。</p> <p>② 見つけたことを、文しようにかきましょう。</p> <p>③ こえにだしてよみかえしましょう。</p> <p>【評価活動】</p> <p>○ いえのひとによんでもらう。</p> <p>第2学年</p>

【单元名】

- おもちやの作り方のせつめいをしよう

【学習過程】

- ① せつめいするおもちゃをきめよう。
- ② 分かりやすいせつめいのしかたを考えよう。
- ③ せつめいする文しょうを書こう。
- ④ 友だちと読み合おう。

【評価活動】

- 友だちと読み合い、くふうしていると思うところを見つける。

第3学年

【单元名】

- 組み立てを考えて、ほうこくする文章を書こう

【学習過程】

- ① 調べたい仕事をきめよう。
- ② くわしく調べよう。
- ③ ほうこくする文章の組み立てをたしかめよう。
- ④ ほうこくする文章を書こう。
- ⑤ 読み合って、感想をつたえよう。

【評価活動】

- 書いた文章を読み合い、感想を伝える。

第4学年

【单元名】

- 事実を分かりやすくほうこくしよう

【学習過程】

- ① 新聞のとくちょうをたしかめよう。
- ② どんな新聞を作るかを話し合おう。
- ③ 取材をしよう。
- ④ わりつけについて話し合おう。
- ⑤ 記事を書こう。
- ⑥ 新聞を仕上げよう。
- ⑦ 読み合って、感想を伝えよう。

【評価活動】

- ろう下にはって、ふせんを用意し、いろいろな人に感想を書いてもらう。

第5学年

【单元名】

- 読み手が納得する意見文を書こう

【学習過程】

- ① 題材を決め、自分の考えをもとう。
- ② 他の立場から、主張を見直そう。
- ③ 文章の構成を決めよう。
- ④ 意見文を書こう。

⑤ 意見文を読み合おう。

【評価活動】

○ 意見文を読み合い、説得力のある書き方だと思ったところを中心に伝え合う。

第6学年

【单元名】

○ 具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう

【学習過程】

① 身の回りにある問題について考えよう。

② 提案のための資料を集めよう。

③ 提案する文章の構成を考えよう。

④ 提案する文章を書こう。

⑤ 読み合って、感想を伝えよう。

【評価活動】

○ 他のグループの提案書を読み合い、「分かりやすいな。」「説得力があるな。」と思ったところを伝え合う。

【国語】

視 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦単元や資料等の配列
方 法	○配列の特徴，総単元数・領域ごとのページ数

発行者	調査・研究内容																																																														
東書	<p>【配列の特徴，総単元数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第4学年までは，上下巻の2冊構成，第5学年及び第6学年は1冊である。 ○ 第2学年以上の各巻の巻頭に，「国語の学習の進め方」「○年で学習する言葉の力」を設けてあり，年間を通じて「何を，どのように学ぶか」が見通せるようになっている。 ○ 第5，6学年には，「読むこと」と「書くこと」，「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の領域を有機的に関連させた複合単元が設定されている。 ○ 年間総単元数 第1学年：6単元（下巻のみ） 第2学年～第6学年：10単元 <p>【領域ごとのページ数】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> <th>第5学年</th> <th>第6学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">知識・技能</td> <td>言葉</td> <td>110</td> <td>157</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>142</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>32</td> <td>61</td> <td>114</td> <td>84</td> <td>61</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>言語文化</td> <td>16</td> <td>44</td> <td>26</td> <td>48</td> <td>54</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td colspan="2">話すこと・聞くこと</td> <td>57</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>27</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td colspan="2">書くこと</td> <td>85</td> <td>191</td> <td>186</td> <td>172</td> <td>166</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td colspan="2">読むこと</td> <td>85</td> <td>136</td> <td>138</td> <td>140</td> <td>136</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td colspan="2">入門期</td> <td>130</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	知識・技能	言葉	110	157	150	150	142	128	情報	32	61	114	84	61	100	言語文化	16	44	26	48	54	34	話すこと・聞くこと		57	28	36	30	27	39	書くこと		85	191	186	172	166	146	読むこと		85	136	138	140	136	136	入門期		130					
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年																																																							
	知識・技能	言葉	110	157	150	150	142	128																																																							
		情報	32	61	114	84	61	100																																																							
		言語文化	16	44	26	48	54	34																																																							
	話すこと・聞くこと		57	28	36	30	27	39																																																							
	書くこと		85	191	186	172	166	146																																																							
	読むこと		85	136	138	140	136	136																																																							
	入門期		130																																																												
	学図	<p>【配列の特徴，総単元数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻の2冊構成である。 ○ 説明文教材の後に「書くこと」の教材が設定されているものもある。 ○ 第6学年には，「読むこと」と「書くこと」，「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の領域を有機的に関連させた複合単元が設定されている。 ○ 年間総単元数 第1・2学年：10～14単元 第3・4学年：11～12単元 第5・6学年：10～11単元 (第6学年はそのうち二つが複数領域にまたがる。) <p>【領域ごとのページ数】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> <th>第5学年</th> <th>第6学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">知識・技能</td> <td>言葉</td> <td>137</td> <td>203</td> <td>215</td> <td>218</td> <td>184</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>26</td> <td>91</td> <td>83</td> <td>83</td> <td>56</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>言語文化</td> <td>14</td> <td>53</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>52</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td colspan="2">話すこと・聞くこと</td> <td>16</td> <td>24</td> <td>37</td> <td>35</td> <td>22</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td colspan="2">書くこと</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>50</td> <td>47</td> <td>38</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td colspan="2">読むこと</td> <td>93</td> <td>138</td> <td>107</td> <td>125</td> <td>123</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td colspan="2">入門期</td> <td>55</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	知識・技能	言葉	137	203	215	218	184	214	情報	26	91	83	83	56	52	言語文化	14	53	43	49	52	46	話すこと・聞くこと		16	24	37	35	22	25	書くこと		35	38	50	47	38	55	読むこと		93	138	107	125	123	134	入門期		55				
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年																																																								
知識・技能		言葉	137	203	215	218	184	214																																																							
		情報	26	91	83	83	56	52																																																							
		言語文化	14	53	43	49	52	46																																																							
話すこと・聞くこと		16	24	37	35	22	25																																																								
書くこと		35	38	50	47	38	55																																																								
読むこと		93	138	107	125	123	134																																																								
入門期		55																																																													

教出	<p>【配列の特徴, 総単元数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻の2冊構成である。 ○ 一つの領域に集中して学習する単元と, 各領域の学習を組み合わせ, 総合的に展開する単元を配列している。 ○ 年間総単元数 第1学年: 7単元 (下巻のみ) 第2学年: 15単元 第3学年: 13単元 第4学年: 14単元 第5学年及び第6学年: 10単元 <p>【領域ごとのページ数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> <th>第5学年</th> <th>第6学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">知識・技能</td> <td>言葉</td> <td>144</td> <td>203</td> <td>201</td> <td>181</td> <td>164</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>0</td> <td>36</td> <td>42</td> <td>84</td> <td>73</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>言語文化</td> <td>19</td> <td>14</td> <td>42</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td colspan="2">話すこと・聞くこと</td> <td>12</td> <td>68</td> <td>38</td> <td>50</td> <td>32</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td colspan="2">書くこと</td> <td>74</td> <td>114</td> <td>172</td> <td>164</td> <td>178</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td colspan="2">読むこと</td> <td>103</td> <td>160</td> <td>139</td> <td>145</td> <td>148</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td colspan="2">入門期</td> <td>94</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	知識・技能	言葉	144	203	201	181	164	154	情報	0	36	42	84	73	47	言語文化	19	14	42	25	30	32	話すこと・聞くこと		12	68	38	50	32	50	書くこと		74	114	172	164	178	119	読むこと		103	160	139	145	148	131	入門期		94					
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年																																																							
知識・技能	言葉	144	203	201	181	164	154																																																								
	情報	0	36	42	84	73	47																																																								
	言語文化	19	14	42	25	30	32																																																								
話すこと・聞くこと		12	68	38	50	32	50																																																								
書くこと		74	114	172	164	178	119																																																								
読むこと		103	160	139	145	148	131																																																								
入門期		94																																																													
光村	<p>【配列の特徴, 総単元数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第4学年までは, 上下巻の2冊構成, 第5学年及び第6学年は1冊である。 ○ 一つの領域に集中して学習する単元と, 各領域の学習を組み合わせ, 総合的に展開する単元を配列している。 ○ 教科書全体が「単元」「コラム」「特設単元」で構成されている。 ○ 年間総単元数 第1学年: 7単元 (下巻のみ) 第2学年: 9単元 第3学年及び第4学年: 8単元 第5学年及び第6学年: 7単元 <p>【領域ごとのページ数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> <th>第5学年</th> <th>第6学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">知識・技能</td> <td>言葉</td> <td>95</td> <td>197</td> <td>199</td> <td>216</td> <td>214</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>28</td> <td>43</td> <td>66</td> <td>74</td> <td>46</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>言語文化</td> <td>28</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>49</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td colspan="2">話すこと・聞くこと</td> <td>16</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td colspan="2">書くこと</td> <td>52</td> <td>62</td> <td>69</td> <td>61</td> <td>58</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td colspan="2">読むこと</td> <td>84</td> <td>140</td> <td>145</td> <td>154</td> <td>129</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td colspan="2">入門期</td> <td>91</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	知識・技能	言葉	95	197	199	216	214	184	情報	28	43	66	74	46	25	言語文化	28	39	40	39	49	58	話すこと・聞くこと		16	21	21	21	23	20	書くこと		52	62	69	61	58	56	読むこと		84	140	145	154	129	136	入門期		91					
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年																																																								
知識・技能	言葉	95	197	199	216	214	184																																																								
	情報	28	43	66	74	46	25																																																								
	言語文化	28	39	40	39	49	58																																																								
話すこと・聞くこと		16	21	21	21	23	20																																																								
書くこと		52	62	69	61	58	56																																																								
読むこと		84	140	145	154	129	136																																																								
入門期		91																																																													

【国語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑧伝統と文化に関する内容の記述
方 法	○伝統的な言語文化に関する単元の数・単元名・取り上げられている作品等

発行者	調査・研究内容			
	学年	単元数	単元名	取り上げられている作品等
東書	1 ・ 2	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ かぞえうた ○ かんじのはなし ○ ことばであそぼう ○ むかしばなしをたのしもう ○ 言いつたえられているお話を知ろう ○ きせつの足音 (春・夏) ○ きせつの足音 (秋・冬) ○ むかし話をしょうかいしよう ○ おばあちゃんに聞いたよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数字 ・ 象形文字, 指事文字 ・ 回文 ・ 「かちかち山」「ももたろう」「花さかじいさん」 ・ 「だいだらぼうのお話」 ・ 「ちょうちょう」「うみ」 ・ 「うさぎ」「雪」 ・ 「かさこじぞう」 ・ 十二支, 小の月, いろは歌, いろはかるた, きょう土かるた 等
	3 ・ 4	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 慣用句を使おう ○ きせつの足音 (春・夏) ○ きせつの足音 (秋・冬) ○ 俳句に親しむ ○ ことわざと故事成語 ○ 季節の足音 (春・夏) ○ 季節の足音 (秋・冬) ○ 百人一首の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ねこの手もかりたい」「道草を食う」「馬が合う」 ・ 「たんぼぼ」「いるか」 ・ 「赤とんぼ」, 俳句 ・ 俳句 ・ 「さるも木から落ちる」「五十歩百歩」 ・ 「てんとうむし」, 俳句, 短歌 ・ 俳句, 短歌, 「手紙」 ・ 百人一首 等
	5 ・ 6	13	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の足音 (春・夏) ○ 古文に親しむ ○ 季節の足音 (秋・冬) ○ 古文のえがく四季 ○ 心が動いたことを三十一音で表そう ○ 季節の足音 (春・夏) ○ 言葉は変わる ○ 漢文に親しむ ○ 日本の文字 ○ 季節の足音 (秋・冬) ○ いにしへの言葉に学ぶ ○ 心が動いたことを十七音で表そう ○ 日本の伝統芸能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「五月」, 俳句, 短歌 ・ 「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」 ・ 「風のあと」, 俳句, 短歌 ・ 「枕草子」 ・ 短歌 ・ 「春の河」, 俳句, 短歌 ・ 「竹取物語」 ・ 「百聞は一見に如かず」「論語」「諸葛亮の言葉」「春曉」 ・ 「万葉集」万葉がな, ひらがな, かたかな ・ 俳句, 短歌, 「ふるさと」 ・ 「昔の人からの手紙」 ・ 俳句 ・ 能, 狂言, 人形浄瑠璃, 歌舞伎, 落語 等
学図	1 ・ 2	6 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○ むかしばなしを よもう ○ おはなしがいっぱい ○ きせつのたより (春) ○ ことばのいずみ かん字のでき方 ○ きせつのたより (夏) ○ ことばであそぼう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「さるじぞう」 ・ 「わらしべちょうじゃ」「かちかちやま」など ・ 春の動植物, 春の七草 ・ 象形文字, 会意文字 ・ 夏の動植物, いえの中のなつ ・ いろはうた

学図	1 ・ 2	4 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○ むかしのものがたりをたのしもう ○ きせつのはたより (秋) ○ 極めんのようすと人多つたことを読もう ○ きせつのはたより (冬) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヤマタノオロチ」 ・秋の動植物, 秋の七草 ・「かさこじぞう」 ・冬の動植物, 冬の遊び <p style="text-align: right;">等</p>
	3 ・ 4	14	<ul style="list-style-type: none"> ○ きせつのはたより (春) ○ 言葉のひびきやリズムを楽しもう 俳句 ○ きせつのはたより (夏) ○ 長い間使われてきた言葉を知ろう 慣用句 ○ きせつのはたより (秋) ○ きせつのはたより (冬) ○ 言葉のいずみ 漢字のでき方 ○ 季節のはたより (春) ○ 季節のはたより (夏) ○ 言葉のひびきやリズムを楽しもう 短歌 ○ 季節のはたより (秋) ○ 昔から言い伝えられてきた言葉こもれよう ことわざ・故事成語 ○ 日本各地の短歌 ○ 季節のはたより (冬) 	<ul style="list-style-type: none"> ・春の行事 ・俳句 ・夏の行事 ・「顔から火が出る」「足が棒になる」「首を長くする」 ・秋の行事 ・冬の行事 ・象形文字, 指事文字, 会意文字, 形声文字 ・春を表現する言葉, 俳句 ・夏を表現する言葉, 俳句 ・短歌 ・秋を表現する言葉, 俳句 ・「三人よれば文殊のちえ」「船頭多くして船山に登る」 ・短歌 ・冬を表現する言葉, 俳句 <p style="text-align: right;">等</p>
	5 ・ 6	17	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節のはたより (春) ○ 季節のはたより (夏) ○ 言葉の文化を体験しよう 古文の世界 ○ 言葉のいずみ 方言と共通語 ○ 人形劇 ○ 季節のはたより (秋) ○ 豊かに表現しよう 俳句・短歌を作ろう ○ 季節のはたより (冬) ○ 言葉の文化を体験しよう 文語詩 ○ 言葉のいずみ 日本語の文字の歴史 ○ 季節のはたより (春) ○ 言葉の泉 漢字の成り立ち ○ 季節のはたより (夏) ○ 季節のはたより (秋) ○ 言葉の文化を体験しよう 狂言 漢詩 ○ 季節のはたより (冬) ○ 伝統芸能に親しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・春を表現する言葉, 俳句 ・夏を表現する言葉, 俳句 ・「宇治拾遺物語」 ・方言, 共通語 ・「木竜うるし」 ・秋を表現する言葉, 俳句 ・児童の作った俳句や短歌 ・冬を表現する言葉, 俳句 ・「やしの実」 ・万葉集, 万葉がな, ひらがな, かたかな ・二十四節気 (春), 「春の小川」 ・象形文字, 指事文字, 会意文字, 形声文字 ・二十四節気 (夏), 「夏は来ぬ」 ・二十四節気 (秋), 「もみじ」 ・「盆山」「尋胡隠君」 ・二十四節気 (冬), 「冬景色」 ・「盆山」
教出	1 ・ 2	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ としょかんへいこう にほんのおはなし ○ かん字のはじまり ○ ぶんか ○ ぶんか しりとりであそぼう ○ 文化 「言葉あそび」をしよう ○ 文化 いなばのしろうさぎ ○ 場面や人物の様子をくわしく読もう ○ 文化 むかしのあそび ○ むかしのお話を読もう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わらしべちょうじゃ」「かぐやひめ」など ・象形文字, 指事文字 ・「天にのぼったおけやさん」 ・しりとり ・「いろはうた」「おてだまうた」 ・「古事記」 ・「かさこじぞう」 ・ちいきのかると ・「三びきのこぶた」など <p style="text-align: right;">等</p>

教出	3 ・ 4	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化 俳句に親しむ ○ 文化 きせつの言葉を集めよう ○ 文化 ことわざ・慣用句 ○ 文化 十二支と月のよび名 ○ 文化 短歌の世界 ○ 登場人物のせいとかや、気持ちを想像して読もう ○ 文化 「月」のつく言葉 ○ 文化 故事成語 ○ 文化 雪 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句 ・俳句 ・「さるも木から落ちる」「かっぱの川流れ」など ・十二支，時刻，方角，月のよび名 ・短歌 ・落語「ぞろぞろ」 ・「中秋の名月」「お月見」など ・「五十歩百歩」「漁夫の利」「蛇足」「矛盾」 ・唱歌，詩，俳句，短歌 <p style="text-align: right;">等</p>
	5 ・ 6	14	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化 漢文に親しむ ○ 文化 鳥 ○ 俳句を作ろう ○ 短歌や俳句を楽しもう ○ 文化 「古典」を楽しむ ○ 日本の伝統芸能 ○ 付録 附子（狂言） ○ 文化 春はあけぼの ○ 文化 雨 ○ 文化 「知恵の言葉」を集めよう ○ 文化 言葉は時代とともに ○ 言葉 日本語の文字 ○ 付録 伝えられてきた作品 ○ 付録 日本生まれの漢字 国字 	<ul style="list-style-type: none"> ・「春暁」「静夜思」「論語」「大学」 ・俳句，短歌，鳥に関わる言葉 ・児童が作った俳句 ・短歌，俳句，川柳 ・「竹取物語」「平家物語」「伊弉保物語」 ・能，狂言，人形浄瑠璃，歌舞伎 ・「附子」 ・「枕草子」 ・雨に関わる言葉，短歌，俳句，詩，ことわざ，四字熟語 ・教訓，おまじまい，ことわざ など ・「万葉集」，短歌，俳句，「坊つちやん」「杜子春」 ・漢字，葉仮名，平仮名，片仮名 ・「徒然草」「おくのほそ道」「アイヌ神謡集」「おもしろし」 ・畑，働など <p style="text-align: right;">等</p>
光村	1 ・ 2	13	<ul style="list-style-type: none"> ○ おむすびころりん ○ ことばをたのしもう ○ かん字のはなし ○ むかしばなしをよもう ○ 聞いてたのしもう わらしべちようじゃ ○ きせつのことば 春がいっぱい ○ 聞いてたのしもう いなばの白うさぎ ○ きせつのことば 夏がいっぱい ○ ことばあそびをしよう ○ きせつのことば 秋がいっぱい ○ 聞いて楽しもう ○ きせつのことば 冬がいっぱい ○ ことばを楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おむすびころりん」 ・言葉遊び，早口言葉 ・象形文字，指事文字 ・「おかゆのおなべ」「ジャックと豆の木」「きたかぜとたいよう」など ・「わらしべちようじゃ」 ・春の動植物，「はながさいた」 ・「いなばの白うさぎ」 ・夏の動植物，「みんなん」 ・かぞえうた，いろはうた など ・秋の動植物，「やま」 ・「せかいーの話」 ・冬の動植物，「ゆき」 ・回文 <p style="text-align: right;">等</p>
	3 ・ 4	8 (16)	<ul style="list-style-type: none"> ○ きせつの言葉 春のくらし ○ 声に出して楽しもう 俳句を楽しもう ○ きせつの言葉 夏のくらし ○ きせつの言葉 秋のくらし ○ つたわる言葉 ことわざ・故事成語 ○ 声に出して楽しもう 短歌を楽しもう ○ きせつの言葉 冬のくらし ○ 知ると楽しい 「故事成語」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり」，春の言葉 ・俳句，いろはうた ・「はなび」，夏の言葉 ・「虫の声」，秋の言葉 ・「笑う門には福来る」「五十歩百歩」など ・短歌 ・「ゆき」，冬の言葉 ・「杞憂」「登竜門」「蛇足」「蜚雪の功」

光村	3 ・ 4	8 (16)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の言葉 春の楽しみ ○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう(一) ○ 季節の言葉 夏の楽しみ ○ 季節の言葉 秋の楽しみ ○ 伝わる言葉 慣用句 ○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう(二) ○ 季節の言葉 冬の楽しみ ○ 百人一首に親しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・春の行事, 言葉, 俳句 ・短歌, 俳句 ・夏の行事, 言葉, 俳句, 短歌 ・秋の行事, 言葉, 短歌 ・「羽をのばす」など ・短歌, 俳句 ・冬の行事, 言葉, 俳句, 春の七草 ・短歌 <p style="text-align: right;">等</p>
	5 ・ 6	20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の言葉 春の空 ○ 言葉をよりすぐって俳句を作ろう 日常を十七音で ○ 声に出して読もう 古典の世界(一) ○ 季節の言葉 夏の夜 ○ 季節の言葉 秋の夕暮れ ○ 伝えられてきた文化 古典芸能の世界一語りで伝える ○ 声に出して読もう 古典の世界(二) ○ 季節の言葉 冬の朝 ○ 落語に親しもう ○ 季節の言葉 春のいぶき ○ 言葉を選んで, 短歌を作ろう たのしみは ○ 声に出して楽しもう 天地の文 ○ 季節の言葉 夏のさかり ○ 季節の言葉 秋深し ○ 表現の工夫をとらえて読み, それをいかして書こう『鳥獣戯画』を読む ○ 伝えられてきた文化 古典芸能の世界一演じて伝える ○ 伝統文化を楽しもう 狂言柿山伏「柿山伏」について ○ 季節の言葉 冬のおとずれ ○ 言葉 仮名の由来 ○ 時代をこえて伝わる古典 	<ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」, 春の言葉, 俳句 ・俳句 ・「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」 ・「枕草子」, 夏の言葉, 俳句 ・「枕草子」, 秋の言葉, 俳句 ・落語 ・「論語」「春曉」 ・「枕草子」, 冬の言葉, 俳句 ・「寿限無」「まんじゅうこわい」 ・二十四節気(春), 春の短歌, 俳句 ・短歌 ・「天地の文」 ・二十四節気(夏), 夏の短歌, 俳句 ・二十四節気(秋), 秋の短歌, 俳句 ・「鳥獣人物戯画」 ・狂言, 能, 歌舞伎, 人形浄瑠璃, 「柿山伏」 ・「柿山伏」 ・二十四節気(冬) 冬の短歌, 俳句 ・万葉仮名, 平仮名, 片仮名 ・「古事記」「万葉集」「竹取物語」「枕草子」「源氏物語」「平家物語」「徒然草」「御伽草子」「おくのほそ道」「東海道中膝栗毛」 <p style="text-align: right;">等</p>

【国語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑨本文記述と関連がある図表等の活用
方 法	○取り上げられている図表等，文章と図表等の関連について考えさせる記述

発行者	調査・研究内容		
	第3学年		
	単元名	資料	記述
	書き手のくふうを考えよう 『ほけんだより』を読みくらべよう	○ ほけんだより「一つ目の文章」 ○ ほけんだより「二つ目の文章」	○ 二つの文章には、どちらも図や表が使われています。文章とどのような関係があるか考えましょう。 ・図と表が、文章のどの部分を説明しているかをたしかめましょう。 ・もし図や表がなかったら、それぞれの文章のつたわり方は、どうなるでしょうか。
	第4学年		
	単元名	資料	記述
表し方のちがいを考えよう 「広告を読みくらべよう」	○ 広告1 ○ 広告2	○ 写真の使い方 ・二つの広告の写真には、それぞれ何が写っているでしょうか。写っている人や、その表情も見くらべてみましょう。 ・二つの写真からは、それぞれどんな印象を受けますか。なぜそのような写真を使ったのかも考えてみましょう。	
東書	第5学年		
	単元名	資料	記述
	書き手の意図を考えよう 「新聞記事を読み比べよう」	○ 新聞の紙面「記事の構成」 ○ 写真「アップ」「ロング」 ○ 「A社の記事」「B社の記事」	○ 記事と写真の関係を読み取ろう。 ・A社とB社の写真の役割について、書き手の意図と関係付けながら考えましょう。 写真がけいさいされていなかった場合と比べて考えてみましょう。 ・紙面の印象や、記事に対する読み手の興味はどう変わるでしょうか。 ・記事の内容を理解するのに、ちがいはあるでしょうか。 ・書き手のメッセージの伝わり方は、どう変わるでしょうか。 A社の写真とB社の写真を入れかえたらどうなるか考えてみましょう。

	第6学年							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単元名</th> <th>資料</th> <th>記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町の未来をえがこう 「町の幸福論ーコミュニティデザインを考えろる」</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「土祭の様子」 ○ 棒グラフ「年間に実施されたプログラムの回数と活動したグループの数」 ○ 表「来園者数の推移」 ○ 図「バックキャスティング」 ○ 写真「島根県の離島にある海士町」 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図表などの資料の効果も考えましょう。 </td> </tr> </tbody> </table>	単元名	資料	記述	町の未来をえがこう 「町の幸福論ーコミュニティデザインを考えろる」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「土祭の様子」 ○ 棒グラフ「年間に実施されたプログラムの回数と活動したグループの数」 ○ 表「来園者数の推移」 ○ 図「バックキャスティング」 ○ 写真「島根県の離島にある海士町」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図表などの資料の効果も考えましょう。 	
単元名	資料	記述						
町の未来をえがこう 「町の幸福論ーコミュニティデザインを考えろる」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「土祭の様子」 ○ 棒グラフ「年間に実施されたプログラムの回数と活動したグループの数」 ○ 表「来園者数の推移」 ○ 図「バックキャスティング」 ○ 写真「島根県の離島にある海士町」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図表などの資料の効果も考えましょう。 						
学図	第5学年							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単元名</th> <th>資料</th> <th>記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新聞の情報を読み取ろう</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞の紙面「記事の構成」 ○ 「A社の記事」「B社の記事」 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 記事の構成をとらえよう <ul style="list-style-type: none"> ・写真・図表 記事の内容や関係することがらを、より分かりやすく伝えるためにそえたもの。 ○ 二つの新聞記事を読み比べよう <ul style="list-style-type: none"> ・見出しや本文, 使っている写真, 図表などのちがいから, 書き手の意図を考えましょう。 </td> </tr> </tbody> </table>	単元名	資料	記述	新聞の情報を読み取ろう	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞の紙面「記事の構成」 ○ 「A社の記事」「B社の記事」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記事の構成をとらえよう <ul style="list-style-type: none"> ・写真・図表 記事の内容や関係することがらを、より分かりやすく伝えるためにそえたもの。 ○ 二つの新聞記事を読み比べよう <ul style="list-style-type: none"> ・見出しや本文, 使っている写真, 図表などのちがいから, 書き手の意図を考えましょう。 	
単元名	資料	記述						
新聞の情報を読み取ろう	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞の紙面「記事の構成」 ○ 「A社の記事」「B社の記事」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記事の構成をとらえよう <ul style="list-style-type: none"> ・写真・図表 記事の内容や関係することがらを、より分かりやすく伝えるためにそえたもの。 ○ 二つの新聞記事を読み比べよう <ul style="list-style-type: none"> ・見出しや本文, 使っている写真, 図表などのちがいから, 書き手の意図を考えましょう。 						

第3学年

単元名	資料	記述
図や写真と文章を、むすびつけて読もう 「川をさかのぼる知恵」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図1「東西二つの見沼代用水と芝川」 ○ 図2「船をいどさせる仕組み」 ○ 写真「ふくげんされた東側の『二の関』」 ○ 写真「パナマ運河をつうかする船」 ○ 図3「太平洋とカリブ海をむすぶ船が通る道」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <ふり返ろう> ・図と文章をむすびつけて読み、自分の考えをまとめることができましたか。

第5学年

単元名	資料	記述
多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう 「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「ブナの森におおわれた白神山地」「ブナの森の中」「カモシカ」「クマゲラ」「イヌワシ」「シラガミクワガタ」「トガクシソウ」「アオモリマンテマ」 ○ 地図「白神山地の位置と世界遺産登録地域」 ○ 資料2「入山届出書の例」 ○ 資料3「新聞記事 より」 ○ 資料4 棒グラフ「暗門の滝をおとずれた観光客数の変化」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ できるだけたくさんの資料を比べて、自分の考えの根拠をはっきりさせよう。 ○ 「資料3」から、人が核心地域に入ると、自然にえいきょうが出てしまう場合も考えられるな。 ○ <ふり返ろう> ・さまざまな資料を比べながら読み、自分の考えをまとめることができましたか。

教出

第4学年

単元名	資料	記述
筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう 「アップとルーズで伝える」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「ルーズでとった会場全体」 ○ 写真「アップでとったコート中央に立つ選手」 ○ 写真「アップでとったゴール直後のシーン」 ○ 写真「ルーズでとった試合終了後の勝ったチームのおうえん席」 ○ 写真「えいぞうを切りかえながら放送している様子」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「アップ」と「ルーズ」を対比しながら説明しているのは、どの段落でしょうか。また、それぞれ、何をどのように説明しているのかをまとめましょう。 ○ 筆者は、新聞の写真について、「取材のときには、いろいろな角度やきよりから、多くの写真をとっています。」と書いていました。わたしたちも、学級新聞などを作るときには一。

第5学年

光村

単元名	資料	記述
資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 「固有種が教えてくれること」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料1 地図・表「日本とイギリスの陸生ほ乳類」 ○ 資料2 年表・図「日本列島の成り立ち」 ○ 資料3 図「1年間の平均気温」 ○ 資料4 「標高」 ○ 資料5 写真「絶滅したとされる動物」 ○ 資料6 棒グラフ「天然林等面積の推移」 ○ 資料7 折れ線グラフ「全国のニホンカモシカほかく数」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章の中で用いられている図表やグラフ、写真を、文章との関わりに注意して読もう。 ○ それぞれ、文章のどの部分と対応し、何が読み取れるか。 ○ それらの資料があることには、どのような効果があるか。 ○ 図表などの効果を考えるとき <ul style="list-style-type: none"> ・〈筆者の立場から考える〉 筆者は、この図表を示すことで、何を伝えたいのではないか。 ・〈読み手の立場から考える〉 もし、このグラフがなかったら一。文章と図表を合わせると、一ということが言える。

第6学年

単元名	資料	記述
<p>表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう 『鳥獣戯画』を読む</p>	<p>○ 絵「鳥獣人物戯画」甲巻の一場面 兎と蛙が相撲をとっている</p> <p>○ 絵「鳥獣戯画」蛙が兎を投げ飛ばした</p> <p>○ 絵「鳥獣戯画」三匹の応援蛙</p> <p>○ 絵『鳥獣戯画』と同じ時代に生まれた絵巻物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信貴山縁起絵巻」飛倉の巻より ・「伴大納言絵巻」上巻より 	<p>○ 絵と文章を照らし合わせながら、次のことを読み取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者は、絵全体の中で、どの部分を取り上げているか。 一どの兎か、兎のどこかなど ・取り上げた対象の、何に着目しているか。 一形、大きさ、色、格好など <p>○ 筆者は、「絵」と「絵巻物」の二つの事柄について、自分の評価を述べている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵」のどこが、どのようによいと考えているのか。筆者の評価が書かれている表現を見つけよう。 ・「絵巻物」について、筆者はどのようなものだと説明し、どう評価しているだろうか。 <p>○ 筆者は、自分の見方を読者に伝えるために、どのような工夫をしているだろう。気づいたことを書き出そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の示し方について

【国語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑩巻頭の示し方
方 法	○巻頭の示し方と内容

発行者	調査・研究内容	
東書	学習の進め方	○ 国語の学習の進め方 ※第2学年以上 ・「つかむ」、「取り組む」「ふり返る」という学習過程を示している。
	つけたい力・学習すること	○ □年で学習する言葉の力（折込ページ） ※第2学年以上に掲載 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、各単元で身につける言葉の力を一覧で示している。 ・1年間で頑張りたいことやできるようになりたいことを合わせて記載している。
	前学年のふり返り	○ □年（前学年）で学習した☆言葉の力（巻末） ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3項目で示している。
学図	前学年の学習のふり返り	○ □年生の国語の学習を始めましょう。 ※第3学年以上 ・「言葉の働き・使い方」「関係づけ・整理のしかた」「伝えられてきた言葉」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の6項目で示している。
	つけたい力・学習すること	○ □年生でつけたい力（折込ページ） ※第3学年以上 ・「知識及び技能」を3項目に分け指導事項を示し、下に単元名を示している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域に分け、指導事項と単元名を示している。 ・「学びに向かう力、人間性等」の目標を示している。
	学習の進め方	○ 国語の学習の進め方を確かめよう ・「つかむ」、「見方や考え方を学ぶ」、「まとめる・ふり返る」、「広げる」という学習過程を示している。

教出	つきたい力・学習すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ □年生で学ぶこと ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、「単元名」「めあて」「ここが大事」を示し、学習順に道で繋ぎ、地図として示している。 ・「言語」「漢字の広場」「文化」「読書」ごとに、単元のつながりを示している。
	学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話す・聞く」「書く」の単元の最初のページには、「見通しをもとう」から「ふり返ろう」まで単元の学習過程を示している。
光村	学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の学びを見わたそう ※第2学年以上 ・「初めに」、「読む」「書く」「話す・聞く」、「ふりかえる」、「学習や生活にいかす」という学習過程を示している。
	つきたい力・学習すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ □年生で学習すること（折込ページ） ※第2学年以上 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域ごとに、教材名・身につきたい力（たいせつ）・学習用語を示している。
	前学年の学習のふり返り	<ul style="list-style-type: none"> ○ □年生（前学年）の学びを確かめよう ・学習することの下に、「話す・聞く」「書く」「読む」の3種類ごとに学習過程に沿って示している。

【国語】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑩考えを伝え合うなどして話し合う活動の工夫
方 法	○単元名, 例示されているテーマ・議題, 話し合いの形態

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第3学年 単元名「グループの合言葉をきめよう」 テーマ・議題「運動会の練習をみんなでがんばれるような今月のグループの合い言葉」 形態：グループでの話し合い</p> <p>第4学年 単元名「学校についてしょうかいすることを考えよう」 テーマ・議題「入学する子たちに、学校のどんなところをしょうかいしたいか」 形態：グループの提案をもとに、クラス全体での話し合い</p> <p>第5学年 単元名「問題を解決するために話し合おう」 テーマ・議題「高学年の図書館利用を増やすために、図書委員会でどんな取り組みをすればよいか」 形態：グループでの話し合い</p> <p>第6学年 単元名「話し合って考えを深めよう」 テーマ・議題「観光案内では、方言と共通語のどちらを使うのがよいか」 形態：グループでの話し合い</p>
学図	<p>第3学年 単元名「やくわりを決めて話し合おう」 テーマ・議題「三組がもっとなかよくなるためのクラスレクをみんなで考えよう」 形態：クラス全体での話し合い（学級会）</p> <p>第4学年 単元名「問題解決のために話し合おう」 テーマ・議題「安全に登下校するためには、どうしたらよいか」 形態：グループで作成した安全マップをもとに、クラス全体で話し合う</p> <p>第5学年 単元名「テーマを決めて討論しよう」 テーマ・議題「学校の昼食はお弁当にしたほうがよい」 形態：討論会</p> <p>第6学年 単元名「立場を決めて討論しよう」 テーマ・議題「地球環境を守るために、私たちに何ができるか」 形態：パネルディスカッション</p>

<p>教出</p>	<p>第3学年 単元名「役わりをきめて話し合おう」 テーマ・議題「ほけん室を表す絵文字を考える」 形態：グループでの話し合い</p> <p>第4学年 単元名「目的や進め方をたしかめて話し合おう」 テーマ・議題「ちいきの人と楽しむ新スポーツをよりよくする」 形態：クラス全体での話し合い</p> <p>第5学年 単元名「考えを広げるために、立場を決めて話し合おう」 テーマ・議題「AI とのくらし」 形態：ミニディベート</p> <p>第6学年 単元名「立場を決めて、主張を明確にしよう」 テーマ・議題「災害から身を守るためには何が必要か」 形態：パネルディスカッション</p>
<p>光村</p>	<p>第3学年 単元名「進行を考えながら話し合おう」 テーマ・議題「一年生が本をすきになってくれるような、読み聞かせをする本を決める」 形態：班での話し合い</p> <p>第4学年 単元名「役わりをいしきしながら話し合おう」 テーマ・議題「ちいきの学習でお世話になった方へのお礼の会で、何をするか」 形態：クラス全体での話し合い</p> <p>第5学年 単元名「たがいの立場を明確にして、話し合おう」 テーマ・議題「階段やわたりろう下をきれいに保つために、何ができるか」 形態：グループでの話し合い後クラスで共有</p> <p>第6学年 単元名「目的や条件に応じて、計画的に話し合おう」 テーマ・議題「交流週間に、一年生とどんな遊びをしたらよいかを班ごとに考える」 形態：グループでの話し合い後クラスで共有</p>

【国語】

観 点	言語活動の充実
視 点	②学校図書館機能の活用
方 法	○学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容

発行者	調査・研究内容	
東書	単元名	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年上「としょかんはどんなところ」 ○ 第2学年上「としょかんへ行こう」 ○ 第3学年上「図書館へ行こう」 ○ 第3学年下「目次やさくいんを活用しよう」 ○ 第4学年上「図書館へ行こう」 ○ 第4学年下「目的に合わせて調べよう」 ○ 第5学年「図書館へ行こう」 ○ 第6学年「図書館へ行こう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館での約束 ・図書館の本の分け方やならび方, 司書の先生 ・図書館での本の分け方やならび方 (日本十進分類法) ・百科事典や図鑑での調べ方 (目次, 索引) ・図書館の本の分類 (日本十進分類法 (NDC)) ・本のラベルの見方 ・本を使った調べ方 ・引用の仕方 ・図書館の本の分類 (日本十進分類法 (NDC), 分類記号, 本のラベルの見方) ・日本十進分類法 (NDC), 地域の図書館, 資料館, 科学館等の活用の仕方
学図	単元名	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年上「ほんをよもう」 ○ 第1学年下「ずかんをつかってしらべよう」 ○ 第2学年上「ずかんをつかってまとめよう」 ○ 第3学年上「百科事典」を引いて調べよう 資料編「学校図書館で本をさがそう」 ○ 第4学年上「百科事典」を使って, 調べることを決めよう 資料編「地いきの図書館を利用しよう」 ○ 第5学年上「年鑑」を使って調べよう ○ 第6学年上資料編「目的に応じて調べよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の約束 ・図鑑での調べ方 (目次, 索引) ・図鑑での調べ方 (目次, 索引), 図鑑を使ったまとめ方 ・百科事典の使い方 ・図書館の本の分類 (分類記号のしくみ) ・本のつくり ・百科事典での調べ方 ・地域の図書館の利用, 本の探し方 (案内図, パソコン検索, 司書) ・年鑑での調べ方 (目次, 索引) ・図書館, 博物館や資料館, インターネット, 取材での調べ方

教出	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単元名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 第1学年上「としょかんへいこう」</td> <td>・図書館の利用</td> </tr> <tr> <td>○ 第2学年上「図書館で本をさがそう」</td> <td>・図書館の本の探し方, 本の分類の仕方</td> </tr> <tr> <td>○ 第3学年上「本で調べよう」</td> <td>・本を使った調べ方 (目次, 索引, 前書き・後書き, 奥付), 読書カード, 本のつくり</td> </tr> <tr> <td>○ 第4学年上「分類をもとに本を見つけよう」</td> <td>・図書館の本の分類 (日本十進分類法, 分類記号, 本のラベルの見方)</td> </tr> </tbody> </table>	単元名	内容	○ 第1学年上「としょかんへいこう」	・図書館の利用	○ 第2学年上「図書館で本をさがそう」	・図書館の本の探し方, 本の分類の仕方	○ 第3学年上「本で調べよう」	・本を使った調べ方 (目次, 索引, 前書き・後書き, 奥付), 読書カード, 本のつくり	○ 第4学年上「分類をもとに本を見つけよう」	・図書館の本の分類 (日本十進分類法, 分類記号, 本のラベルの見方)								
	単元名	内容																	
○ 第1学年上「としょかんへいこう」	・図書館の利用																		
○ 第2学年上「図書館で本をさがそう」	・図書館の本の探し方, 本の分類の仕方																		
○ 第3学年上「本で調べよう」	・本を使った調べ方 (目次, 索引, 前書き・後書き, 奥付), 読書カード, 本のつくり																		
○ 第4学年上「分類をもとに本を見つけよう」	・図書館の本の分類 (日本十進分類法, 分類記号, 本のラベルの見方)																		
光村	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単元名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 第1学年上「としょかんへいこう」「としょかんとなかよし」</td> <td>・図書館の利用, 約束</td> </tr> <tr> <td>○ 第2学年上「図書館たんけん」</td> <td>・本の探し方</td> </tr> <tr> <td>○ 第3学年上「図書館たんていだん」</td> <td>・図書館の本の分け方, ならび方</td> </tr> <tr> <td>○ 第3学年下「科学読み物での調べ方」</td> <td>・本の分類の仕方, 本のつくり ・本を使った調べ方 (目次, 索引, 奥付)</td> </tr> <tr> <td>○ 第4学年上「図書館の達人になろう」</td> <td>・地域の図書館での本の探し方 (ラベル, 本の紹介コーナー, 案内図, 検索用コンピューター), 本以外の資料</td> </tr> <tr> <td>○ 第4学年下「百科事典での調べ方」</td> <td>・百科事典での調べ方 (見出し, 背, 索引)</td> </tr> <tr> <td>○ 第5学年「図書館を使いこなそう」</td> <td>・日本十進分類法, 調べ方 (百科事典, 司書, インターネットの検索), 記録の例</td> </tr> <tr> <td>○ 第6学年「地域の施設を活用しよう」</td> <td>・公共図書館, 文学館, 博物館・資料館, 記録カードの書き方</td> </tr> </tbody> </table>	単元名	内容	○ 第1学年上「としょかんへいこう」「としょかんとなかよし」	・図書館の利用, 約束	○ 第2学年上「図書館たんけん」	・本の探し方	○ 第3学年上「図書館たんていだん」	・図書館の本の分け方, ならび方	○ 第3学年下「科学読み物での調べ方」	・本の分類の仕方, 本のつくり ・本を使った調べ方 (目次, 索引, 奥付)	○ 第4学年上「図書館の達人になろう」	・地域の図書館での本の探し方 (ラベル, 本の紹介コーナー, 案内図, 検索用コンピューター), 本以外の資料	○ 第4学年下「百科事典での調べ方」	・百科事典での調べ方 (見出し, 背, 索引)	○ 第5学年「図書館を使いこなそう」	・日本十進分類法, 調べ方 (百科事典, 司書, インターネットの検索), 記録の例	○ 第6学年「地域の施設を活用しよう」	・公共図書館, 文学館, 博物館・資料館, 記録カードの書き方
単元名	内容																		
○ 第1学年上「としょかんへいこう」「としょかんとなかよし」	・図書館の利用, 約束																		
○ 第2学年上「図書館たんけん」	・本の探し方																		
○ 第3学年上「図書館たんていだん」	・図書館の本の分け方, ならび方																		
○ 第3学年下「科学読み物での調べ方」	・本の分類の仕方, 本のつくり ・本を使った調べ方 (目次, 索引, 奥付)																		
○ 第4学年上「図書館の達人になろう」	・地域の図書館での本の探し方 (ラベル, 本の紹介コーナー, 案内図, 検索用コンピューター), 本以外の資料																		
○ 第4学年下「百科事典での調べ方」	・百科事典での調べ方 (見出し, 背, 索引)																		
○ 第5学年「図書館を使いこなそう」	・日本十進分類法, 調べ方 (百科事典, 司書, インターネットの検索), 記録の例																		
○ 第6学年「地域の施設を活用しよう」	・公共図書館, 文学館, 博物館・資料館, 記録カードの書き方																		

令和元年 7 月 30 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 書写

代表者 呉市立小 学校

氏名 高越 久美子

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【書写】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元の目標の示し方
方 法	○単元の目標の示し方

発行者	調査・研究内容															
東書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年 内容 単元名</th> <th>【目標の示し方 (数)】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年 文字の形 「文字の かたち」</td> <td>○ 文字の かたちの ちがいを 見つけて かこう。 (1)</td> </tr> <tr> <td>第2学年 文字の形 「文字の 形」</td> <td>○ 文字の まわりを 線で かこむと、文字の だいたいの 形が 分かるよ。ととのって いる 文字は どれだろう。 (1)</td> </tr> <tr> <td>第3学年 字配り・配列 「文字の大きさと字間」</td> <td>○ 次の文の書き方をくらべて、読みやすくするために気をつけることを見つけましょう。 (1)</td> </tr> <tr> <td>第4学年 字配り・配列 「行の中心と行間」</td> <td>○ 二つの文をくらべて、読みやすくするために気をつけることを見つけましょう。 (1)</td> </tr> <tr> <td>第5学年 字配り・配列 「漢字どうしの大きさ」 「行の中心 (小筆)」</td> <td>○ 熟語を整えて書くには、どうしたらよいか考えましょう。 ○ 行の中心を整えて書くには、どうしたらよいか考えましょう。 (2)</td> </tr> <tr> <td>第6学年 字配り・配列 「用紙にあった文字の大きさ」 「文字の大きさと配列 (小筆)」</td> <td>○ ①～③を比べて、用紙に合った大きさと配列で文字を書くにはどうしたらよいか考えましょう。 ○ 次の文を、どのような配列で書くと読みやすくなるか考えましょう。 (2)</td> </tr> </tbody> </table>	学年 内容 単元名	【目標の示し方 (数)】	第1学年 文字の形 「文字の かたち」	○ 文字の かたちの ちがいを 見つけて かこう。 (1)	第2学年 文字の形 「文字の 形」	○ 文字の まわりを 線で かこむと、文字の だいたいの 形が 分かるよ。ととのって いる 文字は どれだろう。 (1)	第3学年 字配り・配列 「文字の大きさと字間」	○ 次の文の書き方をくらべて、読みやすくするために気をつけることを見つけましょう。 (1)	第4学年 字配り・配列 「行の中心と行間」	○ 二つの文をくらべて、読みやすくするために気をつけることを見つけましょう。 (1)	第5学年 字配り・配列 「漢字どうしの大きさ」 「行の中心 (小筆)」	○ 熟語を整えて書くには、どうしたらよいか考えましょう。 ○ 行の中心を整えて書くには、どうしたらよいか考えましょう。 (2)	第6学年 字配り・配列 「用紙にあった文字の大きさ」 「文字の大きさと配列 (小筆)」	○ ①～③を比べて、用紙に合った大きさと配列で文字を書くにはどうしたらよいか考えましょう。 ○ 次の文を、どのような配列で書くと読みやすくなるか考えましょう。 (2)	
	学年 内容 単元名	【目標の示し方 (数)】														
	第1学年 文字の形 「文字の かたち」	○ 文字の かたちの ちがいを 見つけて かこう。 (1)														
	第2学年 文字の形 「文字の 形」	○ 文字の まわりを 線で かこむと、文字の だいたいの 形が 分かるよ。ととのって いる 文字は どれだろう。 (1)														
	第3学年 字配り・配列 「文字の大きさと字間」	○ 次の文の書き方をくらべて、読みやすくするために気をつけることを見つけましょう。 (1)														
	第4学年 字配り・配列 「行の中心と行間」	○ 二つの文をくらべて、読みやすくするために気をつけることを見つけましょう。 (1)														
	第5学年 字配り・配列 「漢字どうしの大きさ」 「行の中心 (小筆)」	○ 熟語を整えて書くには、どうしたらよいか考えましょう。 ○ 行の中心を整えて書くには、どうしたらよいか考えましょう。 (2)														
第6学年 字配り・配列 「用紙にあった文字の大きさ」 「文字の大きさと配列 (小筆)」	○ ①～③を比べて、用紙に合った大きさと配列で文字を書くにはどうしたらよいか考えましょう。 ○ 次の文を、どのような配列で書くと読みやすくなるか考えましょう。 (2)															
学図	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年 内容 単元名</th> <th>【目標の示し方 (数)】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年 文字の形 「じの かたち」</td> <td>○ かたちの ちがいに きを つけて かきましよう。 (1)</td> </tr> <tr> <td>第2学年 文字の形 「文字の形」</td> <td>○ 文字の形のちがいに気をつけて書こう。 (1)</td> </tr> <tr> <td>第3学年 字配り・配列 「文字の大きさと配列」</td> <td>○ 文字の大きさと配列に注意して書こう。 (1)</td> </tr> <tr> <td>第4学年 字配り・配列 「文字の大きさと配列」</td> <td>○ 文字の大きさと配列に注意して書こう。 (1)</td> </tr> <tr> <td>第5学年 字配り・配列 「文字と行の中心」 「文字の大きさと配列」</td> <td>○ 用紙に対する文字と行の中心に注意して書こう。 ○ 用紙に対する文字の大きさと配列に注意して書こう。 (2)</td> </tr> <tr> <td>第6学年 字配り・配列 「文字の大きさと配列」</td> <td>○ 用紙に対する文字の大きさと配列を考えて書こう。 (1)</td> </tr> </tbody> </table>	学年 内容 単元名	【目標の示し方 (数)】	第1学年 文字の形 「じの かたち」	○ かたちの ちがいに きを つけて かきましよう。 (1)	第2学年 文字の形 「文字の形」	○ 文字の形のちがいに気をつけて書こう。 (1)	第3学年 字配り・配列 「文字の大きさと配列」	○ 文字の大きさと配列に注意して書こう。 (1)	第4学年 字配り・配列 「文字の大きさと配列」	○ 文字の大きさと配列に注意して書こう。 (1)	第5学年 字配り・配列 「文字と行の中心」 「文字の大きさと配列」	○ 用紙に対する文字と行の中心に注意して書こう。 ○ 用紙に対する文字の大きさと配列に注意して書こう。 (2)	第6学年 字配り・配列 「文字の大きさと配列」	○ 用紙に対する文字の大きさと配列を考えて書こう。 (1)	
	学年 内容 単元名	【目標の示し方 (数)】														
	第1学年 文字の形 「じの かたち」	○ かたちの ちがいに きを つけて かきましよう。 (1)														
	第2学年 文字の形 「文字の形」	○ 文字の形のちがいに気をつけて書こう。 (1)														
	第3学年 字配り・配列 「文字の大きさと配列」	○ 文字の大きさと配列に注意して書こう。 (1)														
	第4学年 字配り・配列 「文字の大きさと配列」	○ 文字の大きさと配列に注意して書こう。 (1)														
	第5学年 字配り・配列 「文字と行の中心」 「文字の大きさと配列」	○ 用紙に対する文字と行の中心に注意して書こう。 ○ 用紙に対する文字の大きさと配列に注意して書こう。 (2)														
第6学年 字配り・配列 「文字の大きさと配列」	○ 用紙に対する文字の大きさと配列を考えて書こう。 (1)															

教出	<p>学年 内容 単元名</p>	<p>【目標の示し方 (数)】</p>
	<p>第1学年 文字の形 「じの かたち」 「文字の かたち」</p>	<p>○ じの かたちに きを つけて かこう。 ○ 文字の かたちに 気を つけて かこう。 (2)</p>
	<p>第2学年 文字の形 「文字の 形」</p>	<p>○ 文字の 形に 気を つけて 書こう。 (1)</p>
	<p>第3学年 字配り・配列 (活用「レツトライ」 はがき・原こう用紙・文化・手紙での扱い)</p>	<p>○ 文字の大きさや行の中心に気を付けて書こう。 ○ 文字の大きさや配列に気を付けて書こう。 ○ 文字の大きさや行の中心に気を付けて書こう。 ○ 文字の大きさや行の中心に気を付けて、ていねいに書こう。 (4)</p>
	<p>第4学年 字配り・配列 (活用「レツトライ」 はがき・文化・かるたでの扱い)</p>	<p>○ 文字の大きさや行の中心に気を付けて書こう。 ○ 文字の大きさと配列に気を付けて書こう。 ○ 文字の大きさと配列に気を付けて書こう。 (3)</p>
	<p>第5学年 字配り・配列 「用紙に対する文字の大きさと配列」</p>	<p>○ 用紙に対する文字の大きさと配列に気を付けて書こう。 (1)</p>
光村	<p>学年 内容 単元名</p>	<p>【目標の示し方 (数)】</p>
	<p>第1学年 文字の形 「じの かたち」 「字の かたち」</p>	<p>○ どんな かたちの じが あるかな。 ○ どんな かたちの 字が あるかな。 (2)</p>
	<p>第2学年 文字の形 「字の 形」</p>	<p>○ 字の 形を 見て みよう。 (1)</p>
	<p>第3学年 字配り・配列 「行の中心」</p>	<p>○ どちらが読みやすいかな。理由も合わせて考えよう。 (1)</p>
	<p>第4学年 字配り・配列 「ノートの達人になろう」 「漢字どうしの大きさ」 「こう筆のまとめ」</p>	<p>○ ノートを読みやすく書くためのポイントを考えよう。 ○ 漢字をならべて書くときの、文字の大きさをたしかめよう。 ○ 学習したことをたしかめながら、えんぴつで書こう。 (3)</p>
	<p>第5学年 字配り・配列 「文字の大きさ(漢字と仮名)」 「めざせ！新聞記者」 「用紙に合った文字の大きさ」</p>	<p>○ 文字の大きさと読みやすさには、どんな関係があるのだろう。 ○ どんな工夫をしたら①のようになるかを、話し合おう。 ○ 用紙に合った文字の大きさを考えよう。 (3)</p>
<p>第6学年 字配り・配列 「用紙に合った文字の大きさと配列」 「伝えるって、どういうこと？」</p>	<p>○ 用紙に合った文字の大きさと配列を考えよう。 ○ 分かりやすいのは、①と②のどちらだろう。 (2)</p>	

学年 内容 单元名	【目標の示し方 (数)】
第1学年 文字の形 「かたち」 「かたち」	○ ひらがなの かたち に き を つけて かこう。 ○ かたち に 気 を つけて かこう。 (1)
第2学年 文字の形 「形」	○ 形 に 気 を つけて 書こう。 (1)
第3学年 字配り・配列 「文字の中心」 「文字の大きさ」と行の中心」 「横書きの書き方」	○ 中心の目安になる画を見つけて書こう。 ○ 配列よく書くための方法を知ろう。 ○ 文字をそろえて書こう。 (3)
第4学年 字配り・配列 「文字の大きさ」 「漢字とひらがなの大きさ」 「行の中心と字間・行間」	○ 大きさのちがいに気をつけて書こう。 ○ 文字の大きさに気をつけて書こう。 ○ 配列よく書くための方法を知り、読みやすく書こう。 (3)
第5学年 字配り・配列 「文字の大きさ」 「配列」	○ 用紙に対する文字の大きさを考えて、配列よく書こう。 ○ 配列に気をつけて、読みやすく書こう。 (2)
第6学年 字配り・配列 「行の中心と字間・行間」 「文字の大きさと余白」 「配列」	○ 読みやすく書く方法を考えて書こう。 ○ 用紙に合った文字の大きさを考えて書こう。 ○ 文字の大きさと配列をを考えて書こう。 (3)

日文

【書写】

視 点	基礎・基本の定着
視 点	②姿勢, 点画の書き方, 用具の扱いの示し方
方 法	○正しい姿勢, 点画の書き方, 用具の扱い方の写真・イラストの示し方

発行者	調査・研究内容			
東書	学 年	【正しい姿勢】 (ページ数)	【点画の書き方】 (ページ数)	【用具の扱い方】 (ページ数)
	1	○ 字を書く姿勢・手の置き方・足の置き方の写真とイラスト (6)	○ 線のなぞり・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・むすび・そりのイラスト (13)	○ 鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト (4)
	2	○ 第1学年に同じ (5)	○ とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・むすび・点・そりのイラスト (6)	○ 第1学年に同じ (4)
	3	○ 毛筆で机の上で書くとき・立って書くとき・床の上で書くとき・硬筆で書くときの姿勢の写真 (4)	○ 筆圧, 始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・曲がり・反りの写真とイラスト (11)	○ 筆の持ち方・おろし方・用具の置き方(左手で書く場合も有)と扱い方・墨のすり方, 紙のしまい方, 用具の後始末, 鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (8)
	4	○ 第3学年に同じ (3)	○ 筆圧, 始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・曲がり・反り・折り返しのイラスト (3)	○ 筆の持ち方・用具の置き方(左手で書く場合も有)と扱い方・墨のすり方, 紙のしまい方, 用具の後始末, 鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (6)
	5	○ 第3学年に同じ (3)	○ 既習の点画の書き方のイラスト ○ しんにょうの書き方における筆圧・はらいのイラスト ○ 結びの写真 (4)	○ 第4学年に同じ (6)
	6	○ 第3学年に同じ (3)	○ 既習の点画に書き方のイラスト (3)	○ 第4学年に同じ (7)

学年	【正しい姿勢】 (ページ数)	【点画の書き方】 (ページ数)	【用具の扱い方】 (ページ数)
1	○ 机の上で字を書く姿勢・バインダーで字を書く姿勢, 手の置き方・足の置き方の写真とイラスト (4)	○ 線のなぞり・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・折り返し・むすび, そりのイラスト (9)	○ 鉛筆・フェルトペン・サインペン・水筆の持ち方の写真 (4)
2	○ 机の上で字を書く姿勢, 手の置き方・足の置き方の写真とイラスト (3)	○ 点画の書き方に係る写真・イラストなし (点画のつき方・交われ方に係るイラスト有) (0)	○ 第1学年に同じ (4)
3	○ 毛筆で机の上で書くとき・立って書くとき・床の上で書くとき, 鉛筆で書くときの姿勢の写真 (3)	○ 筆圧, 始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・曲がり・はねの写真 (7)	○ 筆の持ち方・おろし方, 用具の置き方と扱い方, 墨の持ち方とすり方, 用具の後始末, 小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (5)
4	○ 第3学年に同じ (3)	○ 曲がり・はね・反り・結びの写真 (2)	○ 第3学年に同じ (3)
5	○ 第3学年に同じ (3)	○ しんによりの筆使いにおける筆圧・はらいの写真とイラスト (1)	○ 第3学年に同じ (3)
6	○ 第3学年に同じ (3)	○ 点画の書き方に係る写真・イラストなし (0)	○ 第3学年に同じ (3)

学図

教出	学年	【正しい姿勢】 (ページ数)	【点画の書き方】 (ページ数)	【用具の扱い方】 (ページ数)
	1	○ 字を書く姿勢, 字を消すときの手の置き方, 足の置き方の写真とイラスト (2)	○ 線のなぞり・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・むすび・そりのイラスト (12)	○ 鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト (4)
	2	○ 第1学年に同じ (2)	○ 横画・縦画・とめ・はらい・はね・点・折れ・曲がり・そりのイラスト (6)	○ 第1学年に同じ (4)
	3	○ 毛筆で机の上で書くとき, 立って書くとき, 床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト (2)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がり・反りの写真とイラスト (19)	○ 筆の持ち方・おろし方, 用具の置き方と扱い方, 墨液の扱い方, 紙のしまい方, 墨のふくませ方, 墨の持ち方とすり方, 用具の後始末, 鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (7)
	4	○ 毛筆で机の上で書くとき, 立って書くとき, 床の上で書くとき, バインダーで字を書くときの姿勢の写真とイラスト (3)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がり・反り・結びの写真とイラスト (6)	○ 筆の持ち方, 用具の置き方と扱い方, 墨液の扱い方, 紙のしまい方, 墨のふくませ方, 墨の持ち方とすり方, 用具の後始末, 鉛筆の持ち方・小筆の持ち方の写真とイラスト (6)
	5	○ 第4学年に同じ (3)	○ 既習の点画の書き方のイラスト ○ しんにようとはつがしらの筆使いにおける筆圧・はらいの写真とイラスト ○ 折り返しの写真とイラスト (5)	○ 筆の持ち方, 用具の置き方と扱い方, 紙のしまい方, 墨のふくませ方, 用具の後始末, 鉛筆の持ち方・小筆の持ち方の写真とイラスト (5)
	6	○ 第3学年に同じ (2)	○ 既習の点画の書き方のイラスト (2)	○ 第5学年に同じ (5)

学年	【正しい姿勢】 (ページ数)	【点画の書き方】 (ページ数)	【用具の扱い方】 (ページ数)
1	○ 字を書く姿勢, 手の置き方, 足の置き方の写真とイラスト (4)	○ 線のなぞり・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・折り返し・むすび・そりのイラスト (10)	○ 鉛筆・フェルトペン・水筆の持ち方, 手の動かし方の写真とイラスト (6)
2	○ 第1学年に同じ (4)	○ 始筆・送筆・終筆・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・そり・点の写真とイラスト (5)	○ 鉛筆・フェルトペン・筆の持ち方の写真とイラスト (5)
3	○ 毛筆・鉛筆で机の上で書くときの姿勢, 腕の使い方, 立って書くとき, 床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト (4)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がりの写真とイラスト (14)	○ 筆の持ち方・おろし方, 用具の置き方と扱い方, 紙のしまい方, 墨の持ち方とすり方, 用具の後始末, 鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (8)
4	○ 毛筆・鉛筆で机の上で書くときの姿勢, 立って書くとき, 床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト (2)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がり・反り・結びの写真とイラスト (4)	○ 筆の持ち方, 用具の置き方と扱い方, 紙のしまい方, 用具の後始末, 鉛筆の持ち方の写真とイラスト (4)
5	○ 第4学年に同じ (2)	○ しんによりの書き方における筆圧・はらいのイラスト (1)	○ 第4学年に同じ (5)
6	○ 第4学年に同じ (2)	○ 既習の点画の書き方のイラスト (1)	○ 第4学年に同じ (5)

光村

学 年	【正しい姿勢】 (ページ数)	【点画の書き方】 (ページ数)	【用具の扱い方】 (ページ数)
1	○ 字を書く姿勢, 手の置き方・足の置き方の写真とイラスト (4)	○ 線のなぞり・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・折り返し・むすび・そりのイラスト (9)	○ 鉛筆・フェルトペン・水筆の持ち方の写真とイラスト (4)
2	○ 第1学年に同じ (2)	○ とめ・はらい・はね・曲がり・折れ, 折り返し, むすび・そり・横画・縦画・点のイラスト (5)	○ 第1学年に同じ (3)
3	○ 毛筆・鉛筆で机の上で書くとき・立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト (4)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆, 横画, 縦画・点・折れ・はらい, はね・点・曲がり・反りの写真とイラスト (12)	○ 筆の持ち方・おろし方, 用具の置き方と扱い方, 紙のしまい方, 墨のふくませ方, 墨の持ち方とすり方, 用具の後始末, 鉛筆の持ち方・フェルトペンの持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (5)
4	○ 第3学年に同じ (4)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・止め, はね, はらい, 折れ, 曲がり, 反り, 点, 結びの写真とイラスト (4)	○ 第3学年に同じ (4)
5	○ 第3学年に同じ (3)	○ しんじょうの書き方における筆圧・はらいのイラスト ○ 既習の点画の書き方のイラスト (2)	○ 第3学年に同じ (2)
6	○ 第3学年に同じ (3)	○ 既習の点画の書き方のイラスト (1)	○ 第3学年に同じ (2)

日文

【書写】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③課題解決的な学習を実施するための工夫
方 法	○学習過程の示し方と構成

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【学習過程の示し方】(第3学年)</p> <p>○ 「見つけよう。→たしかめよう。→生かそう。→話し合おう。→広げよう。」</p> <p>【構成の特徴】</p> <p>○ 「どのように学ぶか」を明確にした学習過程で、「書写のかぎ」をキーワードに、課題解決的な学習展開になっている。それぞれの学習過程において視点を示して、生かしたり、話し合ったり、広げたりする構成になっている。</p>
学図	<p>【学習過程の示し方】(第3学年)</p> <p>○ 「1たしかめて書こう→2考えて書こう→3生かして書こう」</p> <p>【構成の特徴】</p> <p>○ 1は「学習することは何かな。」「まず、書いてみよう。」、2は「どこをどのように直したらいいのかな。」「練習しよう。」「まとめ書きをしよう。」、3は「ためし書きとまとめ書きをくらべよう。」「学習したことを生かして、硬筆で書こう。」「ふり返ろう。」「学習したことを、学校やふだんの生活の中でも生かしてみよう。」と細分化され、何が身に付いたかが実感できる構成になっている。</p>
教出	<p>【学習過程の示し方】(第3学年)</p> <p>○ 「見つける、くらべる→書く、たしかめる→ふり返る、つたえ合う→広げる」</p> <p>【構成の特徴】</p> <p>○ 第3学年以上では、七つに細分化され、「ためし書きと教科書の文字をくらべて、気をつけることを見つかけよう。(考えよう)」→「気をつけることをたしかめて練習しよう。(ここが大切)」→「学習したことを他の文字でもたしかめよう。(生かそう)」の流れで、教材を比較・検討し、気付いたことを生かして書く構成になっている。</p>
光村	<p>【学習過程の示し方】(第3学年)</p> <p>○ 「1考えよう(整った文字の書き方を考えよう。)->2たしかめよう(書き方をたしかめて毛筆で書こう。)->3生かそう(学習したことを生かして書こう。)」</p> <p>【構成の特徴】</p> <p>○ 第3学年以上では、課題解決的な学習を行っていく過程の中で、自分で考えたり確かめたりするだけでなく、学年や場面に応じて友達と話し合う学習展開を設け、対話的な学びを通して、学習を深められるような構成になっている。</p>
日文	<p>【学習過程の示し方】(第3学年)</p> <p>○ 「1課題をはっきりさせ、見通しをもつ→2学習に取り組む→3ふり返り、次の学習に生かす」</p> <p>【構成の特徴】</p> <p>○ 第3学年以上では、「一人で学習」「グループで学習」と、主体的・対話的な学びについて明記し、「書写学習の進め方」として「ためし書きをする→考える→たしかめる→まとめ書きをする→いかす→ふり返る」と具体的に示している。キャラクターの発言が、児童の「気付き」を促すように設定され、課題解決的な学習展開を行い、目標達成について自己評価を行うことができる構成になっている。</p>

【書写】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	④単元等の配列・分量
方 法	各学年の総ページ数・毛筆教材数・硬筆教材数・硬筆記入欄のページ数

発行者	調査・研究内容				
東書	学年	【総ページ数】	【毛筆教材数】	【硬筆教材数】	【硬筆記入欄ページ数】
	1	49	0	15	27
	2	45	0	13	21
	3	57	10	3	11
	4	53	9	3	12
	5	53	9	4	8
	6	53	9	3	8
学図	学年	【総ページ数】	【毛筆教材数】	【硬筆教材数】	【硬筆記入欄ページ数】
	1	50	0	14	26
	2	47	0	10	21
	3	51	7	0	13
	4	59	6	0	22
	5	53	6	0	20
	6	51	5	0	19
教出	学年	【総ページ数】	【毛筆教材数】	【硬筆教材数】	【硬筆記入欄ページ数】
	1	49	0	19	9
	2	41	0	9	2
	3	61	9	6	11
	4	61	10	3	9
	5	53	9	4	7
	6	53	7	2	5
光村	学年	【総ページ数】	【毛筆教材数】	【硬筆教材数】	【硬筆記入欄ページ数】
	1	45	0	20	21
	2	41	0	15	16
	3	57	10	3	13
	4	53	10	2	11
	5	55	9	2	9
	6	53	11	3	8
日文	学年	【総ページ数】	【毛筆教材数】	【硬筆教材数】	【硬筆記入欄ページ数】
	1	40	0	14	16
	2	40	0	20	12
	3	56	11	5	5
	4	56	11	6	3
	5	52	11	7	2
	6	52	10	7	4

【書写】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑤伝統と文化に関する内容の記述
方 法	○書写の歴史に関する資料等の内容とページ数, 伝統的な言語文化に関する内容とページ数

発行者	調査・研究内容		
東書	学 年	【書写の歴史に関する資料等の内容 (ページ数)】	【伝統的な言語文化に関する内容 (ページ数)】
	1	○ どう やって つくるの えんぴつ・けしゴム (1) ○ かきぞめを しよう (2) ○ かん字の はなし (1)	○ 「花さかじいさん」のうた (1)
	2	○ かきぞめを しよう (2) ○ かん字の なりたち (1)	○ いろはうた (1)
	3	○ どうやって作るの 筆・和紙・すずり・すみ (1) ○ かきぞめをしよう (3・巻末) ○ 筆づくりにこめた思い (1)	○ 俳句 (1)
	4	○ 手書き文字と活字 (1) ○ 年賀状を書こう (小筆) (1) ○ 書きぞめをしよう (3・巻末) ○ 文字にこめた思い (1)	○ 短歌 (1)
	5	○ 書きぞめをしよう (3・巻末) ○ 世界の文字いろいろ (2) ○ 文字にこめた思い (1)	○ 古文 (2) ○ 俳句 (1)
	6	○ 手書き文字のいろいろな書き方 (1) ○ 書き初めをしよう (3・巻末) ○ 日本の文字の歴史 (2) ○ 文字にこめた思い (1)	○ 漢詩 (1) ○ 漢文 (1)
学図	学 年	【書写の歴史に関する資料等の内容 (ページ数)】	【伝統的な言語文化に関する内容 (ページ数)】
	1	○ かきぞめを しよう (2)	
	2	○ なんの形からできたかん字かな? (1) ○ えんぴつはどうやって作られているの? (1) ○ けしゴムはどうやって作られているの? (1) ○ 書きぞめをしよう (2)	
3	○ 筆はどうやって作られているの? (1) ○ すみはどうやって作られているの? (1) ○ ひらがなはどうやって生まれたの? (1) ○ 書きぞめをしよう (1)	○ 俳句 (4)	

4	<input type="checkbox"/> すずりはどうやって作られているの？ (1) <input type="checkbox"/> 手書き文字と活字 (1) <input type="checkbox"/> 和紙はどうやって作られているの？ (1) <input type="checkbox"/> 書きぞめをしよう (1)	<input type="checkbox"/> 漢文 (2) <input type="checkbox"/> ことわざ (1) <input type="checkbox"/> 俳句 (1) <input type="checkbox"/> 短歌 (2)
5	<input type="checkbox"/> かたかなはどうやって生まれたの？ (1) <input type="checkbox"/> 書きぞめをしよう (1)	<input type="checkbox"/> 古文 (1) <input type="checkbox"/> ことわざ (1)
6	<input type="checkbox"/> 書きぞめをしよう (1)	<input type="checkbox"/> 漢文 (1) <input type="checkbox"/> いろは歌 (2) <input type="checkbox"/> ことわざ (1) <input type="checkbox"/> 「行書」で書いてみよう (2)

教出	学年	【書写の歴史に関する資料等の内容 (ページ数)】	【伝統的な言語文化に関する内容 (ページ数)】
	1	<input type="checkbox"/> かきぞめ (2) <input type="checkbox"/> なんのかたちからできたかんじかな (1)	
	2	<input type="checkbox"/> 何の形からできたかん字かな (1) <input type="checkbox"/> 年がじょうと書きぞめ (3)	<input type="checkbox"/> 昔話 (1)
	3	<input type="checkbox"/> 筆について知ろう (1) <input type="checkbox"/> 暑中みまい (1) <input type="checkbox"/> 書きぞめ (2・巻末) <input type="checkbox"/> 「手書き文字」と「活字」 (1) <input type="checkbox"/> 漢字のなりたち (1)	<input type="checkbox"/> 俳句 (1)
	4	<input type="checkbox"/> さまざまなかるた (1) <input type="checkbox"/> 書きぞめ (2・巻末) <input type="checkbox"/> 漢字の成り立ち (1)	<input type="checkbox"/> 短歌 (1)
	5	<input type="checkbox"/> 「活字」について知ろう (1) <input type="checkbox"/> 平仮名のもとになる漢字 (1) <input type="checkbox"/> 年賀状、絵はがきを書こう (4) <input type="checkbox"/> 書きぞめ (1・巻末) <input type="checkbox"/> すみ・すずり・紙の作り方 (1) <input type="checkbox"/> 漢字の成り立ち (1)	<input type="checkbox"/> 古文 (1)
	6	<input type="checkbox"/> 文字の旅 (2) <input type="checkbox"/> 文字の成り立ち (1) <input type="checkbox"/> 生活と文字 (2) <input type="checkbox"/> 書きぞめ (1・巻末) <input type="checkbox"/> 漢字の成り立ち (1)	<input type="checkbox"/> 古文 (2) <input type="checkbox"/> 俳句 (4) <input type="checkbox"/> 行書 (1)

学年	【書写の歴史に関する資料等の内容 (ページ数)】	【伝統的な言語文化に関する内容 (ページ数)】
1	○ かん字ずかん (1) ○ かきぞめ (2)	
2	○ かん字図かん (1) ○ 書きぞめ (2) ○ えんぴつのひみつ (1)	○ いろは歌 (1)
3	○ 漢字図かん (1) ○ 書きぞめ (2・巻末) ○ 筆ができるまで (1)	○ 俳句 (1)
4	○ 身近な文字をさがそう (1) ○ 漢字図かん (1) ○ 書きぞめ (2・巻末) ○ 紙・すみ・すずりができるまで (1)	○ 短歌 (1)
5	○ 漢字図かん (1) ○ 書きぞめ (2・巻末)	○ 古文 (1)
6	○ 文字の歴史 (3) ○ 漢字図かん (1) ○ 書きぞめ (2・巻末)	○ 俳句 (1) ○ 短歌 (1) ○ 行書 (1)

学年	【書写の歴史に関する資料等の内容 (ページ数)】	【伝統的な言語文化に関する内容 (ページ数)】
1	○ 年がじょうをかこう (1) ○ かきぞめをしよう (1)	
2	○ 書きぞめをしよう (1)	
3	○ 書きぞめ (3・巻末)	○ 俳句・ことわざ (1)
4	○ 書きぞめ (3・巻末) ○ 年賀状のポイント (1)	
5	○ 書きぞめ (3・巻末) ○ わたしの町となりの町 (1) ○ 平仮名のもとになった漢字 (1) ○ 用具の産地をたずねて (1) ○ いろいろな書き方 (1)	○ 伝統的な色 (1) ○ いろは歌 (1) ○ 古文 (1) ○ 行書 (1)
6	○ 手書き文字と活字 (1) ○ 平仮名と片仮名ができるまで (2) ○ 書き初め (3・巻末)	○ 古文・俳句・行書 (1) ○ 俳句 (1) ○ 五・七・五 (2)

【書写】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑥配色, レイアウト等の表現・表記の工夫
方 法	○筆順の示し方, 紙面構成等

発行者	調査・研究内容		
	学年 単元名	【筆順の示し方】	【紙面構成等】(個数)
東書	第1学年 「かく じゅんじょ」	○ 一画ずつ色を変えて示している。 ○ 筆順を画と同じ色の数字と矢印で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(4)
	第2学年 「ひつじゅんの きまり」	○ 筆順のきまりにあたる部分の色を変えて示している。 ○ 筆順(数字)を赤字で示し, 一部を空欄に書き込むようにしている。 ○ 筆順のきまりを赤矢印で示している。(上から書く, 左から書く)	○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(8) ○ 書き込み欄を教材文字の左右に配置し, 選んで記入できるようにしている。(一文)
	第3学年 「おれ」	○ 筆順(数字)を赤字で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の左に配置している。(4)
	第4学年 「筆順と字形」	○ 筆順(数字)を赤字で示している。一画目と二画目は丸囲み数字で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(1)
	第5学年 「点画のつながりと接し方」	○ 筆順(数字)を青字で示している。一画目と二画目は丸囲み数字で示している。 ○ 点画のつながりを赤線で示している。 ○ 一画目を赤, 二画目を青で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(4)
	第6学年 「点画のつながり」	○ 筆順(数字)を青字で示している。 ○ 点画のつながりを赤線で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(2)

学図	学年 単元名	【筆順の示し方】	【紙面構成等】(個数)
	第1学年 「ひらがなをかこう」	○ 筆順(数字)を赤字で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(4) ○ 名前を書き込む欄を配置している。(1)
	第2学年 「かん字のひつじゅん」	○ 筆順のきまりにあたる部分の色を変え、赤矢印で示している。(上から、下、左から右) ○ 筆順(数字)を赤字で示している。 ○ 筆順を空欄に書き込むようにしている。 ○ 下部分に新出漢字の筆順を色で分けて示している。	○ 筆順のきまりを2回示している。 ○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(13) ○ なぞり書きがある。(4)
	第3学年 「おれとはね」	○ 筆順(数字)を赤字で示している。 ○ 下部分に新出漢字の筆順(数字)を赤字で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(3) ○ 名前を書き込む欄を配置している。(1)
	第4学年 「筆順と字形」	○ 一画目と二画目の筆順を赤の丸囲み数字で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(3) ○ 名前を書き込む欄を配置している。(1)
	第5学年 「点画のつながりと筆順」	○ 筆順(数字)を赤字で示している。 ○ 点画のつながりを薄紫線と矢印で示している。 ○ 下部分に新出漢字の筆順(数字)を赤字で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(2) ○ 名前を書き込む欄を配置している。(1)
第6学年 「ほ先の動きと点画のつながり」	○ 筆順(数字)を赤字で示している。 ○ 点画のつながりを薄紫線と矢印で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の右に配置している。(1) ○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(4)	
教出	学年 単元名	【筆順の示し方】	【紙面構成等】(個数)
	第1学年 「かきじゅん」	○ 一画ずつ色を変えて示している。 ○ 筆順(数字)を黒字と赤矢印で示している。	○ 書き込み欄はない。
	第2学年 「書きじゅん」	○ 筆順のきまりを色の違う太矢印で示している。(横画から書く、長いたて画から書く) ○ 一部の筆順(数字)を黒字で示している。 ○ 下部分に新出漢字の筆順(数字)を黒字で示している。	○ 筆順のきまりを2回示している。 ○ 書き込み欄はないが、なぞり書きがある。(2)
第3学年 「『おれ』と『はね』の筆使い」	○ 筆順(数字)を黒字で示している。 ○ 下部分に新出漢字の筆順(数字)を黒字で示している。	○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(1)	

第4学年 「筆順と字形」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆順(数字)を赤字(一, 二画目)と黒字(三画目以降)で示している。 ○ 筆順(数字)を赤字で示し(一, 二画目のみ), 一画目を赤で, 二画目を青で示している。 	○ 書き込み欄を教材文字の左と下に配置している。(6)
第5学年 「筆順と字形」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆順(数字)を赤字(一, 二画目)と黒字(三画目以降)で示している。 ○ 筆順(数字)を黒字で示し(一, 二画目のみ), 一画目を赤で, 二画目を青で示している。 	○ 書き込み欄を教材文字の左に配置している。(2)
第6学年 「文字の大きさと配列, 点画のつながり」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆順(数字)を黒字で示している。 ○ 点画のつながりを薄黒線と矢印で示している。 	○ 書き込み欄を教材文字の左に配置している。(2)

光村	学年 単元名	【筆順の示し方】	【紙面構成等】(個数)
	第1学年 「かきじゅん」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一画ずつ色を変えて示している。 ○ 筆順を画と同じ色の数字と矢印で示している。 	○ 書き込み欄はないが, なぞり書きがある。(2)
	第2学年 「書きじゅん」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆順(数字)を決められた色で示している。 ○ 筆順のきまりを緑色の矢印と吹き出しで示している。(上から下へ, 左から右へ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆順のきまりを2回示している。 ○ 書き込み欄を教材文字の右に配置している。(12)
	第3学年 「おれ」	○ 筆順を示しているページはない。	○ 書き込み欄はないが, なぞり書きがある。(1)
	第4学年 「筆順と字形」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一画目を赤, 二画目を青で示している。 ○ 一画目と二画目の筆順(数字)を赤字で示している。 ○ どちらを先に書くかを空欄に書き込むようにしている。 	○ 書き込み欄はないが, なぞり書きがある。(1)
	第5学年 「筆順と字形」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一画目を赤, 二画目を青で示している。 ○ 一画目と二画目の筆順(数字)を赤字で示している。 ○ 画数を空欄に書き込むようにしている。 	○ 書き込み欄はないが, なぞり書きがある。(1)
	第6学年 「筆順と点画のつながり」	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポイントとなる部分の筆順(数字)を赤字で示している。 ○ 点画のつながりを赤点線と矢印で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書き込み欄を教材文字の右に配置している。(6) ○ なぞり書きがある。(1)

<p>日文</p>	<p>学年 単元名</p>	<p>【筆順の示し方】</p>	<p>【紙面構成等】(個数)</p>
	<p>第1学年 「かきじゅん」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一画ずつ色を変えて示している。 ○ 筆順を画と同じ色の数字と矢印で示している。 ○ 筆順(数字)を青字で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ なぞり書きがある。(3) ○ 名前を書き込む欄を配置している。(1)
	<p>第2学年 「書きじゅん」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆順を青字で示し、一画目と二画目を空欄に書き込むようにしている。 ○ 筆順のきまりを示している。(よこ画が先、たて画が先) ○ 新出漢字の筆順を教材文字横に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。(4) ○ 初めに書く画に赤色を塗るようにしている。(4)
	<p>第3学年 「おれ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆順(数字)を黒字で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書き込み欄はない。
	<p>第4学年 「筆順と字形」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆順(数字)を黒字で示している。 ○ 一画目を赤、二画目を青で示している。 ○ 間違えやすい筆順(数字)を空欄に書き込むようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書き込み欄を教材文字の左に配置している。(4)
	<p>第5学年 「ほ先の動きと点画のつながり」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆順(数字)を黒字で示している。 ○ 一画目を赤、二画目を青で示している。 ○ 点画のつながりを赤点線と矢印で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書き込み欄はない。
	<p>第6学年 「点画のつながりと筆順」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆順(数字)を黒字で示している。 ○ 筆順のきまりにあたる部分の色を変えて示している。 ○ 点画のつながりを赤点線と矢印で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書き込み欄はないが、教材句のなぞり書きがある。(1)

【書写】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑦学習や日常生活に生かす言語活動の工夫
方 法	○各教科等の学習や日常生活に生かす単元名，教材数及び教材例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【単元名】</p> <p>○ 生活にひろげよう ○ 学びを生かそう</p> <p>【各学年の教材数（ ）及び教材例と特徴】</p> <p>第1学年（4）「につきを かこう」</p> <p>第2学年（4）「かんさつした ことを かこう」</p> <p>第3学年（4）「実験したことを記録しよう」</p> <p>第4学年（4）「調べたことを伝える 新聞を作ろう」</p> <p>第5学年（4）「委員会活動を伝える リーフレットを作ろう」</p> <p>第6学年（4）「発表のためのポスターを書こう」</p> <p>○ 基本単元の学習を実の場に生かす「生活に広げよう」を年間3回設定している。</p> <p>○ 日常生活における「書くこと」での活用，国語や他教科の学習での活用，相手に気持ちを伝えるコミュニケーションでの活用を1回ずつ設定している。</p>
学図	<p>【単元名】</p> <p>○ 書写の資料館 ○ 発展（第6学年）</p> <p>【各学年の教材数（ ）及び教材例と特徴】</p> <p>第1学年（7）「かんさつカードをかこう」</p> <p>第2学年（5）「たて書きとよこ書き」</p> <p>第3学年（6）「はがき・原こう用紙・手紙の書き方」</p> <p>第4学年（7）「都道府県名を書こう」</p> <p>第5学年（9）「感謝の気持ちを伝えよう」</p> <p>第6学年（9）「読みやすく書こう」</p> <p>○ 「書写の資料館」では，実用的な内容を巻末にまとめて掲載している。</p> <p>○ 「はがき・原こう用紙・手紙の書き方」「ローマ字」は第3学年以上，「都道府県名を書こう」は第4学年以上などと，繰り返しの教材を設定している。</p>
教出	<p>【単元名】</p> <p>○ レッツ・トライ ○ 書いて伝え合おう</p> <p>【各学年の教材数（ ）及び教材例と特徴】</p> <p>第1学年（4）「ありがとうカードを かこう」</p> <p>第2学年（3）「しょうたいじょう，本のしょうかいカードを書こう」</p> <p>第3学年（6）「メモを取ってまとめよう」</p> <p>第4学年（6）「学級新聞を作ろう」</p> <p>第5学年（4）「年賀状，絵はがきを書こう」</p> <p>第6学年（6）「思い出に残る言葉を書こう」</p> <p>○ 学習した内容を他教科や生活に生かす「レッツ・トライ」を基本単元の間を設定している。</p> <p>○ 「書いて伝え合おう」では，学年の発達段階に応じた教材を設定し，国語科における言語活動例との関連を図っている。</p>

<p>光村</p>	<p>【单元名】</p> <p>○ 学習に生かそう ○ やってみよう (第2学年～5学年)</p> <p>○ 書写ブック (第6学年) ○ 発展 (第2・6学年)</p> <p>【各学年の教材数 () 及び教材例と特徴】</p> <p>第1学年 (4) 「よこがきの かきかた」</p> <p>第2学年 (5) 「しょうたいじょうの 書き方」</p> <p>第3学年 (4) 「手紙の書き方」</p> <p>第4学年 (3) 「リーフレットの書き方」</p> <p>第5学年 (4) 「インタビューメモの書き方」</p> <p>第6学年 (9) 「短歌を書こう」</p> <p>○ 日常生活や他教科の学習内容とのつながりが実感できるような教材を設定している。国語教材と連動した教材を各学年に二つ以上設定している。</p> <p>○ 6年間で学習した内容を「書写ブック (第6学年)」にまとめ、確認できるようにしている。</p>
<p>日文</p>	<p>【单元名】</p> <p>○ 生活と書写 ○ 国語の広場 ○ チャレンジ (第5・6学年)</p> <p>【各学年の教材数 () 及び教材例と特徴】</p> <p>第1学年 (5) 「えにつきを かこう」</p> <p>第2学年 (5) 「れんらくちょうに 書こう」</p> <p>第3学年 (3) 「手紙の書き方」</p> <p>第4学年 (5) 「都道府県の書き方」</p> <p>第5学年 (6) 「原こう用紙の使い方」</p> <p>第6学年 (7) 「手紙の書き方」</p> <p>○ 各学年のまとめのページの後に、学習した内容を日常に生かす「生活と書写」「国語の広場」を設定している。</p> <p>○ 「生活と書写」では、伝え合いを重視した教材を、「国語の広場」では、国語科における言語活動例を具体化した教材を設定している。</p>